

# かこ・げんざい・これから

- 未来に伝える 人・まち・自然 -



旭区誕生50周年記念誌

かこ・げんざい・これ  
- 未来に伝える 人・まち・自然 -  
これから

---

## 旭区誕生50周年記念誌の発行に寄せて

令和元年10月に旭区は誕生50周年を迎えました。この間、かけがえのない緑と川に囲まれた豊かな自然環境のなかで、私達旭区民は、人とのつながりを生む、温もりあふれるコミュニティをつくり、ふるさと旭の魅力として育んできました。

そして今、旭区にはこども自然公園とよこはま動物園ズーラシアに加え、里山ガーデンの開園によって、自然に触れ合える魅力的な空間が誕生しています。また、二俣川駅における再開発、相鉄・JR直通線及び相鉄・東急直通線の開業など、未来へ向けた変化の時期を迎えています。

この記念誌には、変わりゆく時代の中でも、これまで育んできた「人・まち・自然」を愛し、未来に伝えたいという願いを込め、旭区の「かこ・げんざい・これから」を記録しています。本誌がこれまでの旭区の歩みに思いを馳せ、未来への展望を抱ききかけとなれば幸いです。

末筆ながら、記念誌の作成にあたり、ご協力、ご助言くださいました皆様方に、心より感謝申し上げます。

令和元年10月

旭区誕生50周年記念事業実行委員会 記念誌編集委員会

### 目次

旭区あれこれーものしり帳	3
ぐるりと見渡す旭区	4
あさひ歳時記	6
旭の自然	10
森日出夫×旭区	24
相鉄100年と旭区	34
旭区の連合自治会町内会	42
伝統芸能	62
未来に残したい旭区50景	66
子ども達が描く未来の旭区	102
あさひの逸品	108
旭区のおゆみと世の中の出来事	110
データでみるあさひ区	112
協賛企業・団体	115

# 旭区あれこれーものしり帳

旭区は、昭和44年(1969)10月1日の行政区再編により、保土ヶ谷区から分区して誕生しました。

市内でも標高が高く、区の中央を流れる帷子川の分水嶺に囲まれ、水と緑に恵まれた豊かな自然環境が特徴です。

○面積	32.78km <sup>2</sup>	【35.17km <sup>2</sup> 】
○人口	245,450人	【139,812人】
○世帯数	106,011世帯	【37,082世帯】
○一世帯当たり人員	2.32人	【3.77人】
○人口密度	7,488人/km <sup>2</sup>	【4,302人/km <sup>2</sup> 】

令和元年(2019)7月1日現在。【 】内は旭区誕生時  
出典/横浜市人口ニュース。【 】内は「データでみるあさひ2019」



**シンボルマーク**  
中央上部は、旭(朝日)を、  
その下部は、旭を浴びて  
すくすくと育つ新芽と  
YOKOHAMAの“Y”の字を  
図案化したものです。

区の花「アサガオ」



区の昆虫「ホタル」



区の木「ドウダンツツジ」



春

秋

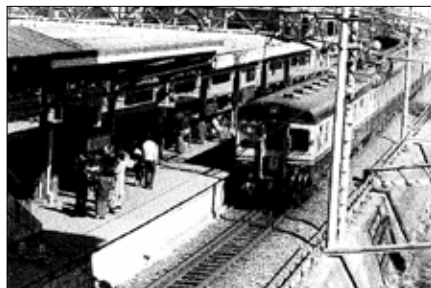
区のマスコットキャラクター  
「あさひくん」



## ほぼ 50年前の旭区写真集



昭和45年(1970) 旭区役所



昭和49年(1974) 二俣川駅



昭和48年(1973)  
建設中の保土ヶ谷バイパス



昭和40年代 運転試験場



昭和44年(1969) 左近山団地



昭和40年代 草葺屋根

# ぐるりと見渡す旭区

ココロット鶴ヶ峰の屋上から、旭区をぐるりと見渡してみました。  
さあ、何が見えるでしょうか。



# あさひ歳時記

旭区には、四季折々の豊かな自然や、地域に根差した行事があります。  
私たちの「ふるさとあさひ」を感じてみませんか。



里山ガーデン



# 春



横浜旭ジャズまつり

# 夏



薬王寺 畠山重忠公慰霊祭





旭ふれあい区民まつり



ズーラシア駅伝



福泉寺

# 秋

善部妙蓮寺 曲題目



だるま市

# 冬

三佛寺 双盤念仏



# 旭の自然

旭区は、豊かな緑や川などの自然に恵まれています。木々や花は季節の移ろいとともに様々な表情を見せ、私たちの心を癒してくれます。

動物たちと触れ合えるこども自然公園、色とりどりの花が咲き乱れる里山ガーデンのほか、懐かしい田園風景を楽しめる追分市民の森などもあります。

また、帷子川親水緑道やふるさと尾根道緑道では、美しい景色を眺めながら、ゆったりと散策することができます。



※この地図は概略図のため、多少の誤差があります。ご了承ください。



# こども自然公園 こどもしぜんこうえん

旭区最大級の面積を持つ自然豊かな公園です。

万騎が原ちびっこ動物園、とりでの森、青少年野外活動センター、バーベキュー広場、教育水田など、数多くの施設が整備されています。

紅葉の大池



新緑の散策路



雪の大池

こども自然公園は別名「大池公園」と呼ばれています。



動物にさわれる万騎が原ちびっこ動物園

# よこはま動物園ズーラシア よこはまどうぶつえんずーらしか



## ◇アフリカのサバンナゾーン 4種混合展示

展示動物は、草食動物のキリン、シマウマ、エランドと、肉食動物のチーターの4種です。現地さながらのアフリカのサバンナの風景を、ぜひゆっくり堪能してください。

## ◇ズーラシアのみどころ



1999年4月24日に開園したよこはま動物園ズーラシアは、今年20周年を迎えました。「ズーラシア (ZOORASIA)」という愛称は、動物園 (ZOO) と広大な自然をイメージしたユーラシア (EURASIA) の合成語で、市民公募によって選ばれました。

動物の展示ゾーンは、世界の気候帯・地域別に8つのゾーンに分かれています。各ゾーンでは、動物、植物、人の文化を織り交ぜながら世界の各地域を演出し、特有の雰囲気を感じることができます。また、ズーラシアは日本最大級の広大な敷地に世界の希少動物を数多く飼育し、その生息環境を再現しています。現在は、約100種720点の動物たちを飼育しており、繁殖にも取り組んでいます。ぜひ、ズーラシアで世界一周の動物旅行をお楽しみください。



よこはま動物園ズーラシア園長  
村田 浩一

## ◇開園 20 周年 園長挨拶

よこはま動物園ズーラシア  
開園 20 周年を迎えるにあたって

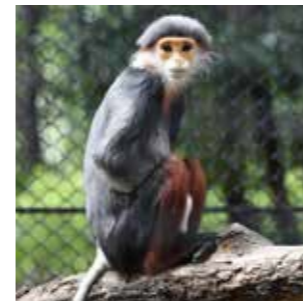
1999年4月24日、よこはま動物園ズーラシアは「生命の共生・自然との調和」をメインテーマに掲げ、「世界一周の動物旅行」ができる動物園として開園しました。そして20周年を迎える今日、緑あふれる園内で世界中の野生動物と出会いながら、自然環境と人間との関係を楽しく学べる場となり、国際的にも高い評価を得るまでに育ちました。これもひとえに、多くの来園者ならびに関係者の皆さまのご支援とご協力のおかげであると心より感謝しています。

さらなる未来に向けて、ズーラシアが来園者にとっても動物たちにとっても楽しく幸せな時間を過ごせる場となるように、そして生物多様性と地球環境の保全に貢献できる場であり続けるように、スタッフ一同、努力を重ねていきます。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



## ◇ズーラシア動物紹介



アカアシドゥ克蘭  
グール  
世界一美しいサルとも  
いわれる。



セスジキノボリカンガ  
ルー  
木に登る珍しいカンガ  
ルー。



テングザル  
天狗のような大きな鼻  
が特徴。



オカピ  
ズーラシアを代表する  
人気動物。

## ◇季節のイベント (過去の例)

### ◆春

「ガーデンパーティー」



### ◆夏

「ナイトズーラシア」



### ◆秋

「ハロウィン」



### ◆冬

「クリスマス」



## ◇施設基本情報

◆入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料  
毎週土曜日は高校生以下無料 (要学生証等)

◆開園時間：9:30 ~ 16:30 (入園は 16:00 まで)

◆休園日：毎週火曜日 (祝日の場合は開園し、翌日休園)、12/29 ~ 1/1  
※臨時開園日あり

# 里山ガーデン

平成29年(2017)春に開催された全国都市緑化よこはまフェアの会場として整備され、毎年春と秋に期間限定で里山ガーデンフェスタが開催されます。



森の空中散歩道で花の見晴らしデッキへ



横浜の花で彩る大花壇



谷戸の景色と森の中の風景

アリウム ギガンチュームの花



## 矢指・追分市民の森 やさし・おいわけ しみんのもり

矢指と追分の二つの市民の森が隣接しています。  
帷子川の支流である矢指川の源流域にある自然豊かな森林です。  
谷戸の田園風景と樹林が一体となり、四季折々の自然を感じることができます。



桃や菜の花が咲き競う追分市民の森

春は菜の花、  
夏はヒマワリ、  
秋にはコスモ  
スが楽しめる



樹林に囲まれた広場のある  
追分市民の森

# 帷子川

かたびらがわ

畠山重忠公碑がある付近で左の二俣川と右の帷子川が合流する。



白根からの中堀川と合流

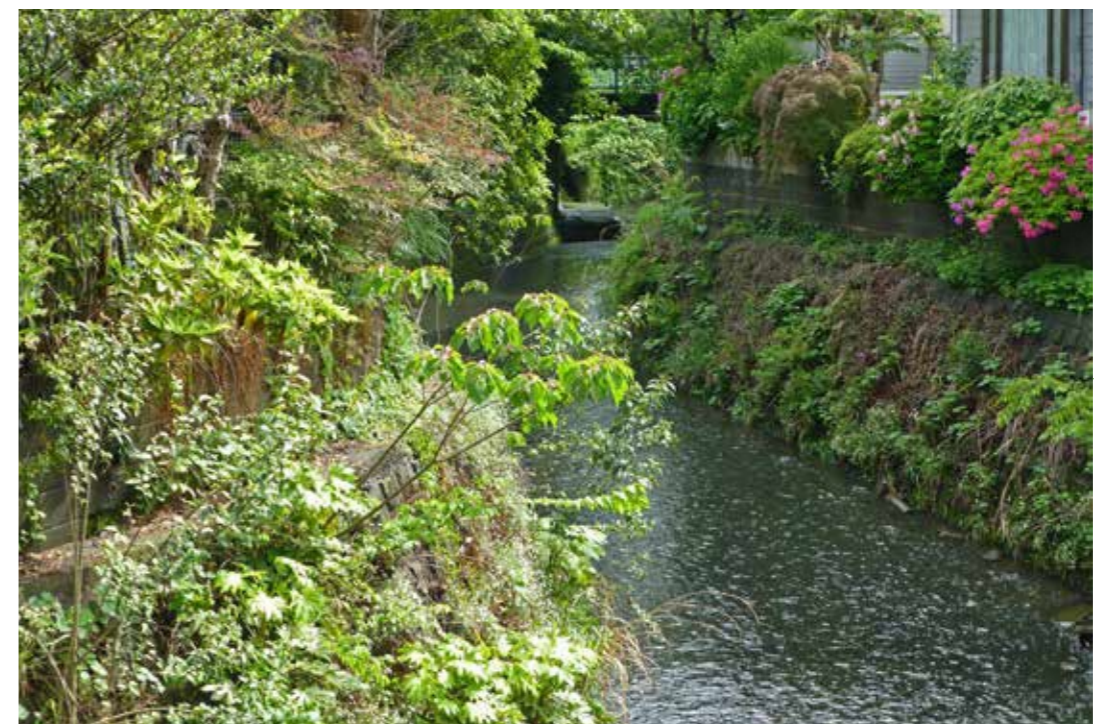
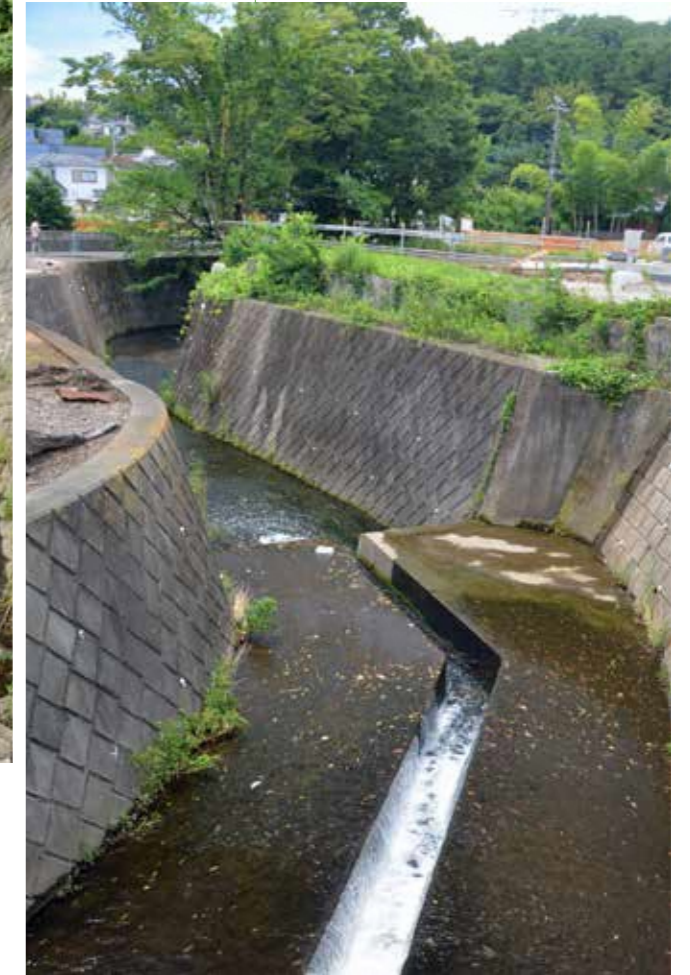


緑におおわれた鶴ヶ峰のトンネル



大きな岩が点在する

上川井町の水路



二俣川

# 帷子川 親水緑道

かたびらがわ  
しんすいりょくどう

昭和63年(1988)に「水と緑のプロムナード事業」の一環として整備され、平成20年度には都市景観大賞「美しいまちなみ特別賞」を受賞しました。



深山のような溪谷



池と庭園

# ふるさと尾根道緑道

ふるさとおねみちりょくどう

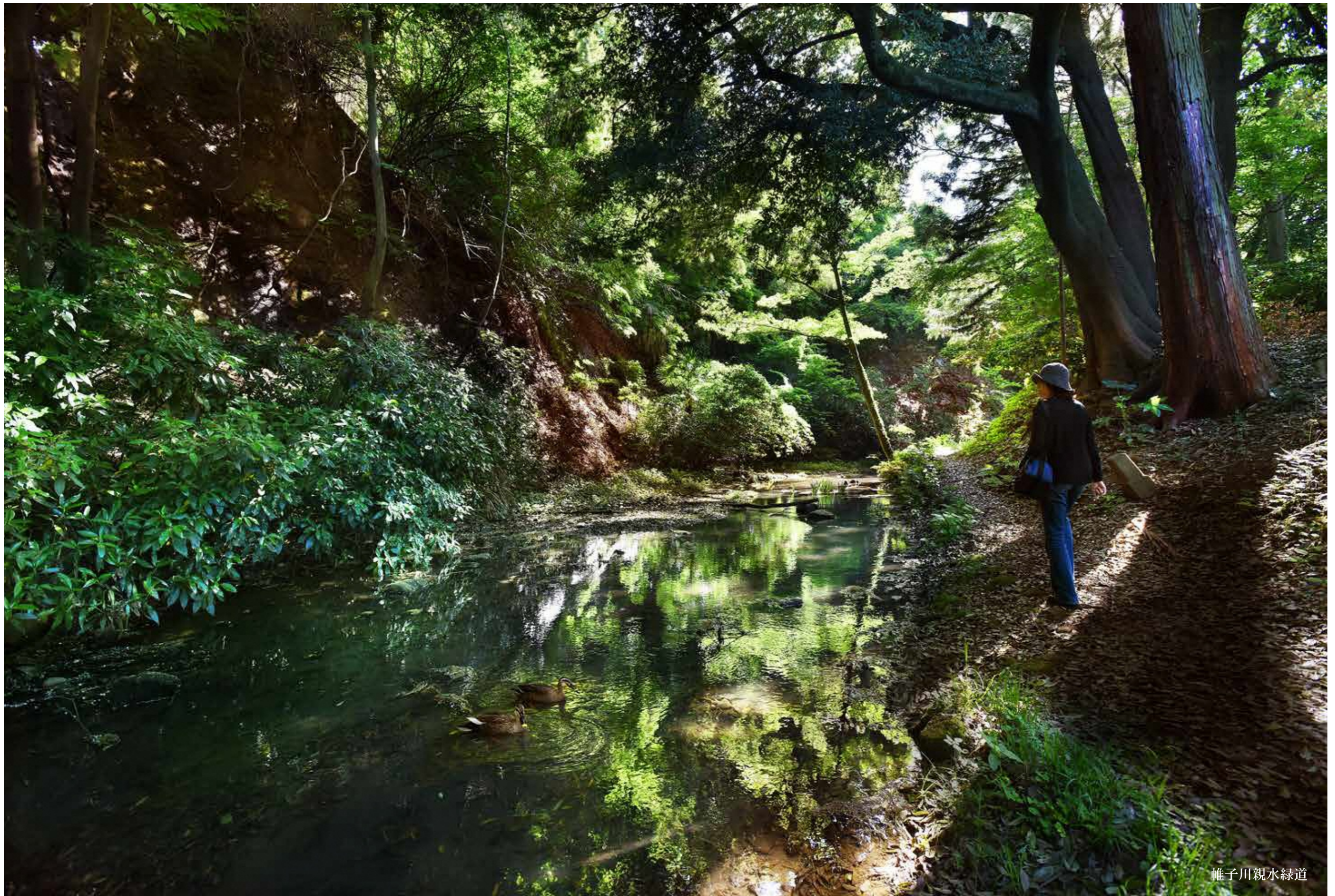
導水路敷に沿って整備された遊歩道で桜の名所になっています。平成12年度に「都市景観大賞」を受賞しました。



川沿いの遊歩道

紅葉の季節





# 森日出夫 me×ets 旭区

写真家 森日出夫が撮らえた旭区の風景



大貫谷戸水路橋と若葉台団地



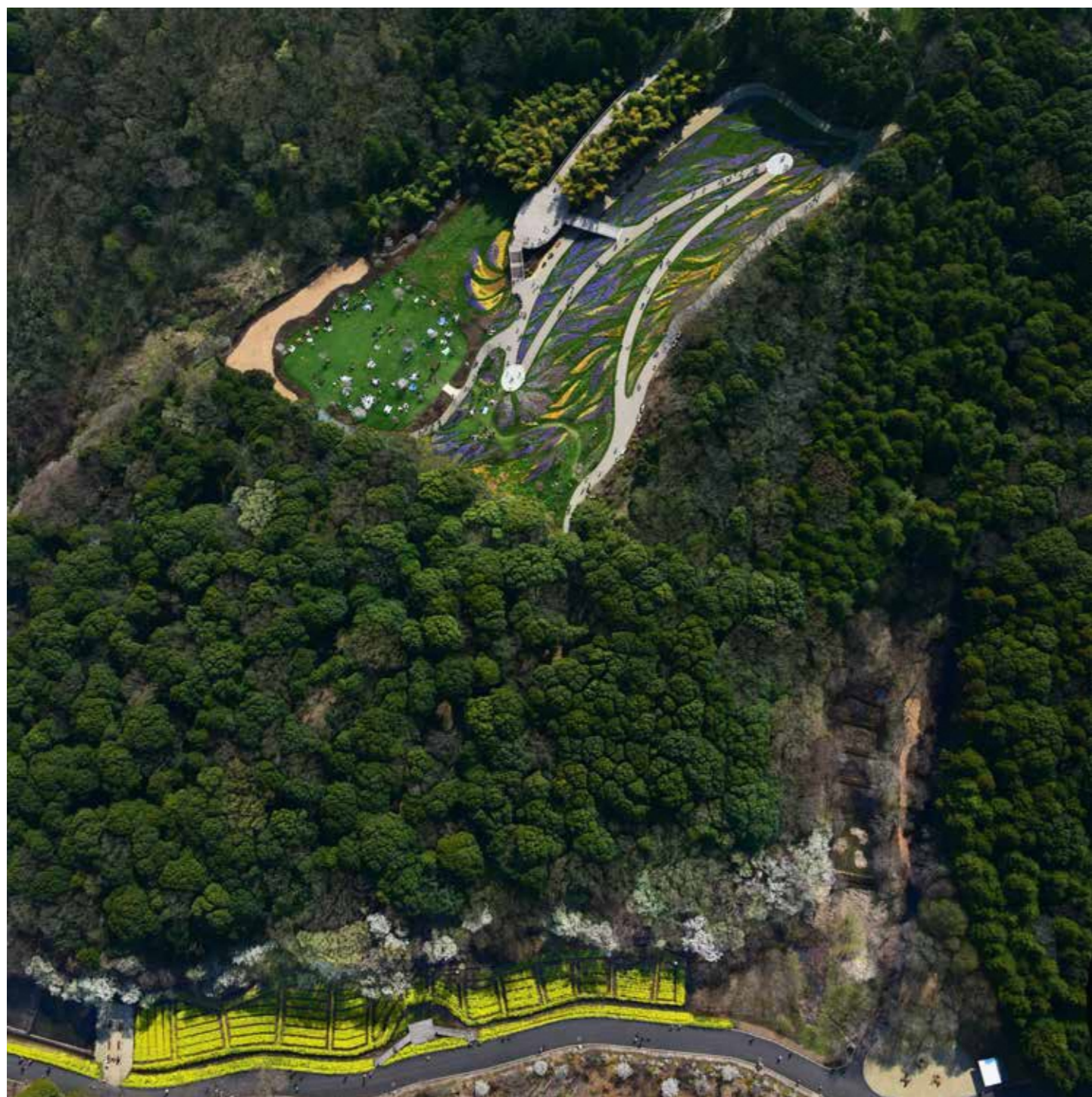


白根 白糸の滝に映る紅葉



どんど焼き 鶴ヶ峰公園

上空からみた里山ガーデン



追分市民の森





旭区を通る新幹線と富士山を望む

# 相鉄100年と旭区

## 相鉄100周年、新たな出発

～ 相鉄と旭区の100年の軌跡、都心直通プロジェクト ～

### 1. 相鉄グループ創立100周年

相鉄グループは平成29年(2017)12月18日、グループ創立100周年を迎えた。

相鉄グループは、大正6年(1917)の創立以来、鉄道業と横浜駅周辺および沿線地域の積極的な開発、そしてその地域での快適な暮らしをサポートする商品・サービスの提供を通じて業容を拡大し、近年では沿線外への積極的な事業展開にも取り組み、今日まで発展を遂げてきた。

神奈川県央部の旅客輸送と相模川の砂利の運搬から始まり、希望が丘や海老名をはじめとする沿線宅地開発、横浜駅前の用地取得と商業開発、いずみ野線開業と緑園都市等の開発、横浜駅西口再開業、選択と集中の推進、持株会社体制への移行、宿泊特化型ホテル事業の拡大、海外への事業展開など、常に変化を続けながら今日まで成長してきた。

相鉄グループは、令和元年(2019)11月30日に鉄道の東京都心相互直通運転(相直)を開始する。相直開始を契機として、沿線の利便性、快適性の更なる向上にグループを挙げて取り組み、沿線価値を高め、ひとりでも多くの生活者を相鉄線沿線に呼び込むことを目指す。



都心直通運転用車両  
相鉄12000系  
(提供/相鉄グループ)

### 2. 相鉄と旭区の100年

#### (1) 万騎が原地区の開発

当社が買収を進めていた横浜市保土ヶ谷区(現旭区)二俣川町万騎が原周辺の事業用地は昭和32年ころには約50万㎡におよんだ。

用地買収に当たっては、多数の地主との煩雑な交渉を避け、能率的に進捗させるため、地主側が組織した委員会を窓口交渉を一本化した。この結果、地主側でも公平な話し合いができると好評であり、効果をあげることができた。

昭和32年(1957)、当初は神奈川県に働きかけ、この地を共同で開発することになり(開発面積85万㎡)、同年8月には両者で公庫建売住宅の建設に着手した。万騎が原団地は当社が最初に手がけたマンモス団地で、用地の26%を道路網にとったゆとりのある団地構成であった。また、土地分譲は行われず全区画を建売住宅としたため、整然とした街づくりが実現した。

このように、当社の土地、建物の分譲が活発化するにしたがって、仲介、斡旋の依頼が次第に増えてきたが、横浜駅東口の本社での営業体制だけでは対応できなくなってきた。このため、横浜駅西口に、昭和32年(1957)12月不動産営業所を設置して、土地、建物の分譲業務を行うと同時に仲介業も兼ね、サービスの向上と営業収入の増加を図った。

こうして昭和33年(1958)3月14日、第1次として59戸を分譲した。



二俣川駅までの道路を建設中の万騎が原団地(昭和30年代)  
(提供/相鉄グループ)



万騎が原団地で採用したプレハブ住宅  
(提供/相鉄グループ)



#### (2) 二俣川「こども自然公園」への土地提供

横浜市は、保土ヶ谷区(現旭区)大池町にある大池を中心に青少年向けの大自然公園をつくる計画を進めていたが、その中心部には当社が分譲用地として約22万㎡の土地を所有していた。当社はこの横浜市の計画に賛同して、土地を無償で提供することを決め、昭和43年(1968)11月1日横浜市に寄付した。横浜市ではその後同地周辺を含めて整備を行い、昭和47年(1972)6月5日、総面積46万㎡の二俣川「こども自然公園」を開園した。



昭和38年(1963)オープンした相鉄ストア三ツ境店  
(提供/相鉄グループ)



昭和43年(1968)オープンした相鉄家具センター  
(提供/相鉄グループ)

(3) 相鉄三ツ境ビル完成(そうてつローゼン1号店の開店)

当社線の沿線開発が進み、沿線に住宅地が増加するにしたがって、沿線住民の日常的なショッピングの便宜を図るため、ショッピング施設の建設が必要となった。昭和38年(1963)11月26日に三ツ境駅前に相鉄三ツ境ビル(平屋一部2階建て、延床面積948㎡)が完成し、グループ第1号のスーパーマーケットである相鉄ストア三ツ境店が開業すると同時に、京浜興業(株)(昭和47年7月1日、相鉄建設(株)に吸収合併)が同ビル内に三ツ境家具センターを出店し、家具の販売を開始した。家具の販売は順調な伸びを示し、同店の店舗面積は狭隘を告げるようになった。このため、当社は同ビルに隣接して平家建て297㎡の相鉄三ツ境ビル別館を建設することにし、昭和43年(1968)5月31日完成、翌6月1日には家具センターが三ツ境ビルから移転し開業した。



昭和45年(1970)オープンした二俣川グリーングリーン  
(提供/相鉄グループ)



昭和54年(1979)リニューアルオープンした二俣川グリーングリーン  
(提供/相鉄グループ)

(4) 二俣川グリーングリーン完成

万騎が原団地をはじめとして、当社が長年にわたって開発を続けてきた二俣川駅周辺一帯は、左近山団地なども加わって、県下の一大大ベッドタウンとしての発展を続けた。このため、二俣川駅を中心に駅前広場を整備して、地域の生活機能を満たすショッピングセンターを建設することになった。

3. 未来への取り組み

(1) 二俣川駅南口地区第一種市街地再開発事業

平成30年(2018)4月27日、二俣川駅(横浜市旭区)に相鉄グループの新しい商業施設「ジョイナステラス二俣川」が開業した。2棟からなる「ジョイナステラス」の店舗数は開業時点で約90店と、横浜市西部エリアでは最大規模だ。今回の「ジョイナステラス二俣川」開業にあたっては2つの事業が行われた。1つは二俣川駅の駅舎増築、もう1つは南口の再開発事業で、駅舎増築で造られた商業フロアが「ジョイナステラス2」、南口再開発事業で造られた複合施設の商業棟が「ジョイナステラス1」だ。南口の再開発事業は、老朽化していた相鉄の商業施設「グリーングリーン」の建てかえや手狭な交通広場の拡幅、そして周辺の低利用地の高度利用を目的として平成24年(2012)から始まった。「グリーングリーン」は平成26年(2014)に閉店・解体の上、整地などを行い、住宅棟・交通広場棟・商業棟・業務棟・駐車場棟からなる複合施設「コプレ二俣川」が建設された。



ジョイナステラス二俣川(二俣川駅南口)  
(提供/相鉄グループ)



二俣川駅北口  
(提供/相鉄グループ)

(2) 都心直通プロジェクト

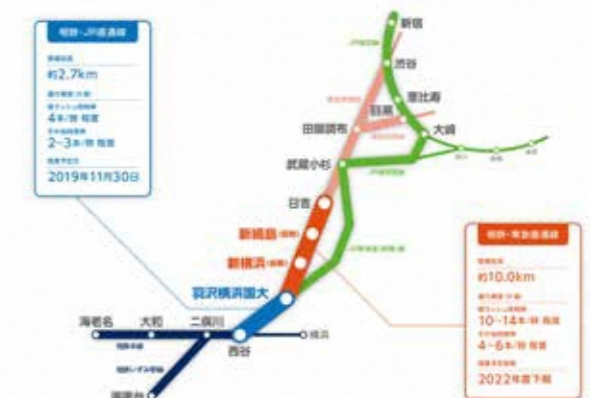
相鉄・JR直通線は延長約2.7kmで、西谷駅で相鉄本線から分岐したのち地下線経由で横浜羽沢駅(貨物駅)に達し、その構内でJR東海道貨物線に合流する。横浜羽沢駅と隣接する地下に新駅が建設されており、平成29年(2017)12月に「羽沢横浜国大」と駅名が決定した。整備主体は鉄道・運輸機構で、営業主体は相模鉄道となる。一方、相鉄・東急直通線は新駅「羽沢横浜国大」で分岐して日吉まで約10.0kmの地下線で、途中に新横浜(仮称)、新綱島(仮称)の2駅を設置、相鉄・東急ともに東海道新幹線にもアクセスする。整備主体は鉄道・運輸機構、営業主体は相鉄と東急の2社となる。

これにより、相鉄線二俣川・海老名や湘南台方面から新宿・渋谷・目黒方面との間で相互直通運転を行い、横浜市西部や神奈川県中部と東京都心の間の速達性向上や、広域鉄道ネットワークの形成と機能の高度化が期待される。

(相鉄ホールディングス株式会社 山城 英哲)



グレイシアタワー二俣川  
(提供/相鉄グループ)



# 相鉄線 今昔

## 鶴ヶ峰駅



平成19年(2007)鶴ヶ峰駅南口地区第一種市街地再開発事業「ココロット鶴ヶ峰」オープン  
(提供/相鉄グループ)

## 二俣川駅



二俣川駅南口地区第一種市街地再開発事業(平成30年(2018)3月撮影)  
(提供/二俣川駅南口地区市街地再開発組合)



昭和37年(1962)ごろ  
(提供/相鉄グループ)



現在(令和元年)



1980年代の二俣川駅  
周辺の様子  
(提供/相鉄グループ)

# 希望ヶ丘駅



現在(令和元年)

# 南万騎が原駅



現在(令和元年)



昭和41年(1966)  
(提供/相鉄グループ)



平成元年(1989)



初代南万騎が原駅(昭和51年(1976))  
(提供/相鉄グループ)



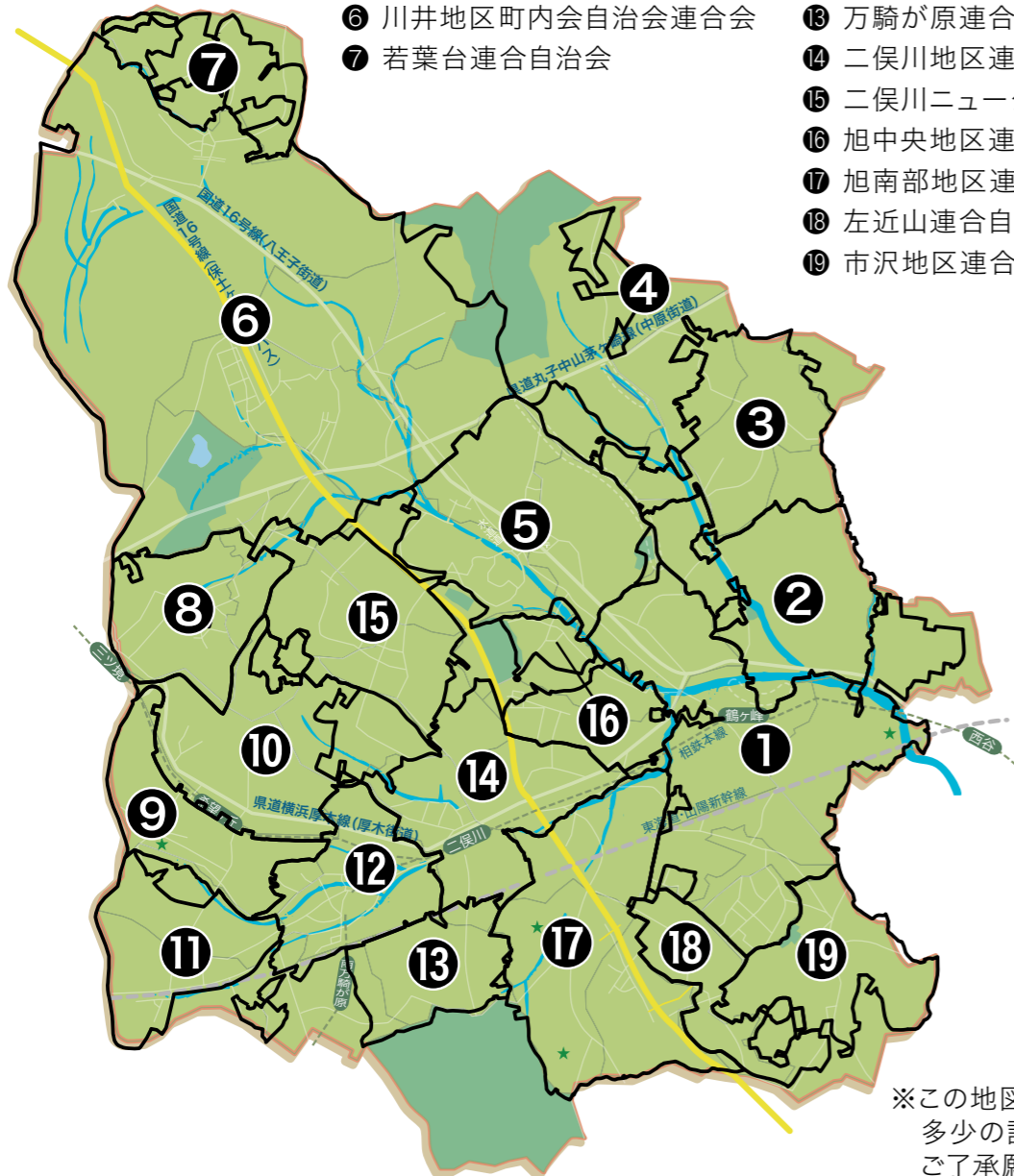
まきが原相鉄ライフのオープン  
(昭和55年(1980))  
(提供/相鉄グループ)

# 旭区の連合自治会町内会

旭区には地区ごとに結成された19の地区連合自治会町内会があり、地域のつながりを強化し、単独の自治会町内会では困難な広域的な事業や課題の解決に向けた活動を行っています。地域イベントの実施などにより、住民相互の親睦や絆を深めるとともに、防災・防犯・福祉・環境・交通安全などの各種活動に取り組み、地域での安心で快適な暮らしを支えています。

また、単独の自治会町内会は旭区に236あり、横浜市内で最も多く、区民の約8割の方が加入しています。

- ① 鶴ヶ峰地区町内会連合会
- ② 白根地区町内会自治会連合会
- ③ 旭北地区連合自治会
- ④ 上白根連合自治会
- ⑤ 今宿地区町内会自治会連合会
- ⑥ 川井地区町内会自治会連合会
- ⑦ 若葉台連合自治会
- ⑧ 笹野台地区連合自治会
- ⑨ 希望が丘連合自治会
- ⑩ 希望が丘東地区連合自治会
- ⑪ 希望が丘南地区連合自治会
- ⑫ さちが丘地区連合自治会
- ⑬ 万騎が原連合自治会
- ⑭ 二俣川地区連合自治会
- ⑮ 二俣川ニュータウン連合町内会
- ⑯ 旭中央地区連合町内会
- ⑰ 旭南部地区連合自治会
- ⑱ 左近山連合自治会
- ⑲ 市沢地区連合町内会



## ① 鶴ヶ峰地区町内会連合会



旭区のランドマーク ココロット鶴ヶ峰



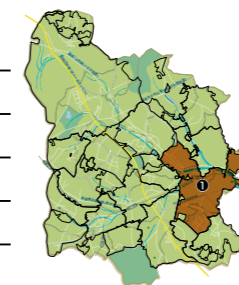
鶴ヶ峰地区連合鼓笛隊

鶴ヶ峰地区町内会連合会は昭和33年(1958)11月に設立されて以来、昨年で60周年を迎え記念式典を開催し、記念誌の発行もいたしました。連合会の年間行事として1月はどんど焼き、4月には観桜会、10月は運動会と四季折々に地域住民の方々が集い親睦を深めております。自然環境においても鑑の渡し緑道、帷子川親水緑道などの憩いの場所が多くあります。

さらに鎌倉時代の武将・畠山重忠公の遺跡群があり、中でも毎年6月22日には旭区観光協会主催による慰霊祭が開催され、関係地域からの出席者も迎え盛大に行っております。

その他として、鶴ヶ峰地区連合会鼓笛隊が「よこはまパレード」に40年連続出場し表彰を頂きました。

加入世帯数	9,018
連合設立	昭和 33 年
自治会町内会数	20
地区連合会長	峯宇 邦男





## ② 白根地区町内会自治会連合会

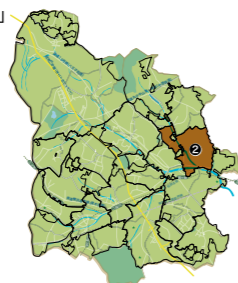


横浜市内最大の滝と称される 白糸の滝



大勢の人たちでにぎわう「白根カーニバル」

加入世帯数	4,377
連合設立	昭和 45 年
自治会町内会数	12
地区連合会長(顧問)	嘉村 訓价

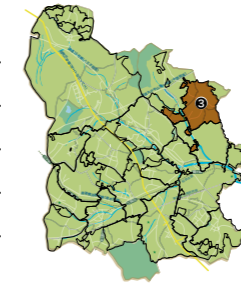


## ③ 旭北地区連合自治会



まちぐるみ 防災フェスタ

加入世帯数	4,892
連合設立	昭和 47 年
自治会町内会数	21
地区連合会長	渋谷 八郎



旭北地区は、里山ガーデン、ズーラシアや四季の森に近く、中堀川プロムナードなど自然環境に恵まれた丘陵地帯にあります。地区内の上白根地域ケアプラザおよび上白根コミュニティハウスを活動拠点として、「安全・安心な、夢のある、和み親しめるまちづくり」に取り組んでいます。特に、「まちぐるみ福祉推進会議」「まちぐるみ防災フェスタ」など、「まちぐるみ」を合言葉に、当地区の住民及び学校・企業・福祉施設等すべての人と協働で活動を展開し、平成21年度から取り組んでいる災害時要援護者支援の強化、小中高校生の地域活動への参画推進、生活環境の整備や交流の場づくりを推進しています。

当地区内の「中堀川プロムナード」は、清掃や花植え等の美化・交流活動を進めて、大人から子どもまであらゆる世代の「いこいの場」とし、近い将来、ほたるの生息をめざしています。



まちぐるみ福祉推進会議 (第4回)

中堀川プロムナードの美化活動

## ④ 上白根連合自治会

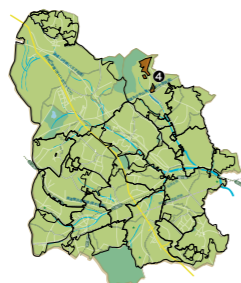


ふれあい広場



空から見た上白根地区

加入世帯数	738
連合設立	平成 6 年
自治会町内会数	3
地区連合会長	中野 保弘



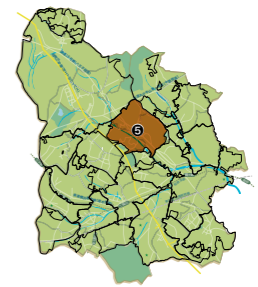
我が上白根連合自治会は近年ひかりが丘団地自治会が脱会、千世帯の小さい連合となってしまいました。それまで行っていた行事は出来なくなり子どものふるさとづくりの為「ふれあい広場」を立ち上げました。四季の森小学校の生徒による「ソーラン踊り」、上白根中学校の吹奏楽部の演奏や旭陵高校の吹奏楽部の演奏、ミニ運動会、また非営利法人の「ミニ蒸気機関車」を導入し子どもたちや高齢者にも大変喜ばれました。その法人が活動を停止、そこで旭警察署の署長にお願いし白バイが来てくれることになりました。上白根中学校のボランティア部の生徒たちが「あさひくん」の「着ぐるみ」を着たり、運営も手伝ってくれます。

地域では、高齢化が進み高齢者の買い物、通院や通勤通学時の中山駅へのバスの利便性向上の為「地域交通サポート事業」で区役所・市道路局と検討を重ねています。災害に強い地域作りでも、防災拠点の明かりの確保、ガス事業者との防災協定も締結します。

## ⑤ 今宿地区町内会自治会連合会



加入世帯数	4,592
連合設立	昭和 47 年
自治会町内会数	9
地区連合会長	栗原 郁夫



[今宿地区町内会自治会活動拠点]

昭和25年(1950)7名の地主さんから1446坪の敷地(今宿神明社所有)が提供されました。

1.目的は児童の健全な育成と安全な遊び場の確保、2.住民の憩いの場であり健康づくりの為、3.連合会、単位町内会、各社団体の活動拠点として利用

平成9年(1997)2月連合会館(延べ250.11㎡)が完成し、その年に今宿西町多目的広場として整備されました。以下連合会の年間活動に使用しています。

4月:桜まつり、5月:総会他役員会会場、6月:防災訓練(安否確認者訓練)、7月:盆踊り、9月:秋季大祭、演芸大会、10月:レクリエーション大会、1月:賀詞交換会、ドンド焼き、2月:輪投げ大会  
6行事時は約1,000人以上の方が参加



[今宿地区連合会自治会秋季大祭、夜の演芸大会風景]

今宿神明社神楽殿を使用、以前秋季大祭9月は19日と決められていましたが、近年には9月19日前後の日曜日に開催しており、グラウンドでは屋台が40件ほど出店します。

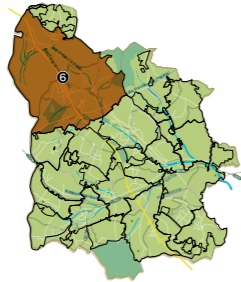
子どもさんからお年寄りまで世代を超えた交流が行われ、近隣の小学校、中学校の生徒さんが参加しています。また、まちの芸達者な方々が歌に、踊りに出演し、ゴザを敷いて町内の皆さんで秋の夜長を楽しんでいます。天候に左右されますが今まで中止になったことはありません。

## ⑥ 川井地区町内会自治会連合会

旭区の北西部に位置し、域内面積は19連合中最大です。大半は、市街化調整区域で、「矢指・追分市民の森」をはじめとする緑地や農地があり、美しい里山の風景を見ることができます。帷子川の源流があり、各地でホタルが見られます。上川井農業専用地区や下川井農業振興地区等の農地で生産される新鮮な野菜は、直売所などで販売され好評を得ています。地域のつながりが強く、連合会と地区社協との協働で、防災訓練、レクリエーション大会、演芸懇親会等で親睦を深めています。近年は住宅開発が進み、世帯構成が変化してきていますので、共生社会の醸成に向けて活動中です。



矢指・追分市民の森



加入世帯数	4,316
連合設立	昭和47年
自治会町内会数	10
地区連合会長	林田 司郎



演芸懇親会でのコマ

## ⑦ 若葉台連合自治会



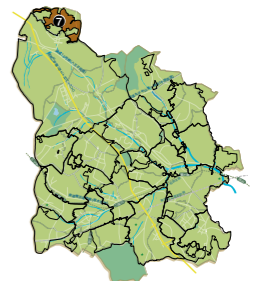
毎年、地域内外からの参加者で賑わう「若葉台正月マラソン大会」

2千3百発を超える豪快な花火に3万人が魅了される「若葉台夏まつり」



若葉台地区は、旭区の北端に位置し、40年前の昭和54年(1979)に入居が始まった住宅団地です。起伏に富んだ地形の中で溢れるような緑と、「百年マンション」を目指しリニューアルされた鮮やかに映える中高層住宅の景観には、目を見張るものがあります。連合自治会を中心とした活発な活動は年間を通して展開され、イベントだけでも、正月マラソン大会、駅伝大会、桜まつり、鯉のぼり、豪快な花火の夏まつり、運動会や文化祭などに多くの住民が参加し、賑わっています。全国平均より高齢化率が高いにも関わらず要介護認定率が低く「元気なお年寄りが多いまち」として認知されるとともに、県公社を含むオール若葉台で、世代をつなぎ、未来をひらく、持続循環型まちづくりを目指し「横浜若葉台みらいづくりプラン」を推進中です。

加入世帯数	5,169
連合設立	昭和60年
自治会町内会数	10
地区連合会長	山岸 弘樹



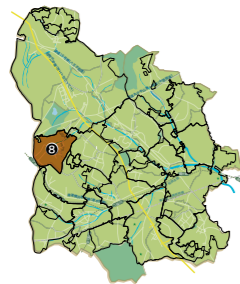
## ⑧ 笹野台地区連合自治会



5月笹野台緑地公園での「連合・社協合同研修会」での集合写真

笹野台地区は相鉄線三ツ境駅の北側に位置しており、戸建てが多く起伏がある住宅地です。1月の「どんど焼き」「新年賀詞交歓会」から始まり、5月「連合・社協合同研修会」では新役員の顔合わせ、「夏祭り・盆踊り大会」「体育祭」「敬老会」「防災訓練」のイベントに毎月各種「スポーツ大会」、地域ケアプラザでの「交流会」などの住民活動を展開しています。

高齢化社会が始まる中、社会福祉協議会と一緒に「きれいな街」「住みよい街」「安心して暮らせる街」づくりを進めています。



加入世帯数	3,837
連合設立	昭和 42 年
自治会町内会数	13
地区連合会長	大田 陽夫



笹野台小学校グラウンドを借りて「体育祭」

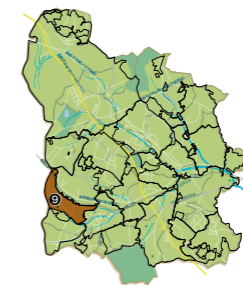
## ⑨ 希望が丘連合自治会



車いすでの参加(ふれあい大運動会)

希望が丘地区は、相鉄線の希望ヶ丘駅を中心に南側の丘陵地帯に開けた、落ち着いた住宅地で構成されています。横浜市内第1号館として昭和48年(1973)にオープンした希望が丘地区センターがあります。地域活動は、納涼盆踊り大会、ふれあい大運動会、高齢者を祝う集い、防災訓練等多岐にわたっています。

また、将来発生するであろう大震災に備え防災拠点の整備、要援護者及び支援者の把握と調査等にも力を入れています。その他、あいさつの声を掛け合う「オアシス運動」への取組や、特殊詐欺被害予防対策等活発に取り組んでいます。当地区での問題点は、道路が狭く希望ヶ丘小学校に大型車両が入れないことで、現在横浜市で計画されている希望ヶ丘瀬谷線の計画道路の早期事業化をお願いしているところです。



加入世帯数	3,310
連合設立	昭和 38 年
自治会町内会数	12
地区連合会長	安藤 眞弘



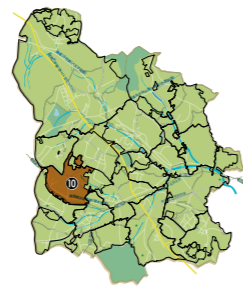
希望ヶ丘小学校屋上からの富士山

## 10 希望が丘東地区連合自治会



地区を代表する風景＝海拔92mの高さの春ノ木神明社からの富士山・大山を望む

希望が丘東地区は、希望ヶ丘駅北側一帯の南斜面丘陵地を中心とした地域であり、何本もの谷戸筋が複雑な地形を構成し、戸建て住宅と集合住宅が混在しています。



加入世帯数	5,396
連合設立	平成6年
自治会町内会数	22
地区連合会長	松本 榮次

現在は22自治会町内会、約5,500世帯が暮らし、人口はここ数年少しずつ増えてきているものの高齢化も進んできています。

連合自治会は「みんなで築く活力のある街」をスローガンに、社会福祉協議会や各種団体そして各自治会と協力して夏祭り、大運動会、地域一斉清掃、防犯パトロール、タウンミーティング、敬老のつどいなどを実施、子どもから高齢者までみんなで「ふれあい」「つながり」「見守り」「助け合い」「支え合い」、そしていつまでも安全に安心して暮らせる地域を目指しています。



子どもからお年寄まで約1500名が集う大運動会

## 11 希望が丘南地区連合自治会



南希の森緑地

加入世帯数	2,899
連合設立	平成6年
自治会町内会数	8
地区連合会長	丹野 康祐

希望が丘南地区は、南希望が丘地域ケアプラザが今年創立10周年を迎えました。福祉の拠点として、地域の行事を幅広く行っています。

地域のみなさんの顔が見られる機会として、運動会と防災フェスタ等の各行事に参加したくなるような行事を推進し、人と人のつながり(絆)を強くし、災害発生時に助け合いのできる仕組みを作り上げるため、地域防災拠点の組織の強化・防災フェスタの開催で防災の意識を高めます。

高齢者の増加と子どもの減少に配慮した行事づくりの構築が求められてます。学校関係等の連帯を大切にしていきます。



防災フェスタの風景

## 12 さちが丘地区連合自治会



伝統ある半ヶ谷囃子

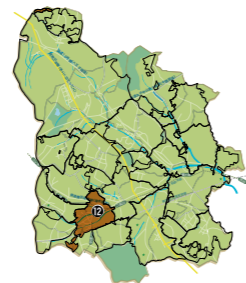
私たちの町の歴史は古く、鎌倉時代には人家があり、源頼朝系の畠山重忠公の親友でもあった榛ヶ谷御厨がこの土地を治めていました。もともと武蔵の国で都筑郡二俣川村大字半ヶ谷とっていました。それが明治4年(1871)、神奈川県となり、昭和14年(1939)には横浜市に編入し、横浜市保土ヶ谷区二俣川町となり、昭和39年(1964)には保土ヶ谷区さちが丘となり、更に昭和44年(1969)には旭区が誕生し、旭区さちが丘となりました。「さちが丘地区連合自治会」が創立されたのもこの時期で、当時はまだ緑が多く、朝起きて深呼吸をすると空気のおいしさがわかったものです。

その後、町は開け、市立さちが丘小学校が二俣川小学校から分校して独立し、昨年創立50周年を迎えました。次第に人家も増え続け、昭和51年(1976)には相鉄いずみ野線が「二俣川～いずみ野」間で開通しています。

一方そんな時代に伝統ある「半ヶ谷囃子」が小学校低学年から大人まで総勢20名ほどで活躍し、平成5年(1993)には横浜市無形民俗文化財保護団体として認定され、今日まで続いています。



旭まつり盆踊り大会



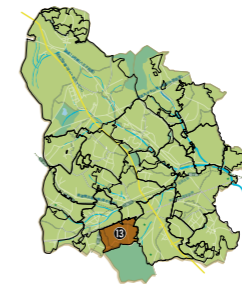
加入世帯数	3,917
連合設立	昭和 44 年
自治会町内会数	5
地区連合会長	玄野 孝善

## 13 万騎が原連合自治会



運動会の様子

加入世帯数	2,739
連合設立	昭和 34 年
自治会町内会数	18
地区連合会長	徳久 和彦



当地区が、神奈川県と相模鉄道のモデル住宅地として昭和33年(1958)から開発され、本会が、万騎が原連合自治会として創設時は、8自治会503世帯の規模でしたが、現在5倍以上に発展し、住みやすい住宅街として、関わっていただいたすべての皆様に、ご支援、ご協力に感謝申し上げますと存じます。

また、地域として、地名の由来の歴史を感じ、鎌倉時代の智・仁・勇を兼ね備えた、武将畠山重忠公の遺烈碑等をお守りしながら、「西に霊峰富士を望み、南にこども自然公園が我が庭園の如く控え住みやすい万騎が原」の自然環境豊かな地域を充分活かし、現代の地域社会の変化に遅れないよう心がけてまいりたいと思います。

こども自然公園

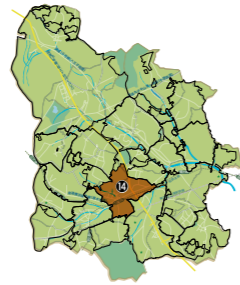


## 14 二俣川地区連合自治会



毎月10日に実施している防犯キャンペーン

加入世帯数	5,354
連合設立	昭和 38 年
自治会町内会数	16
地区連合会長	内田 紘司



二俣川地区は、平成30年(2018)4月、駅南口の市街地再開発事業による高層マンションと商業・業務棟ビルからなる「コプレニ俣川」が完成し、商業施設「ジョイナステラスニ俣川」がオープンしました。5月には、業務棟ビルの6階に地域住民待望の「二俣川地域ケアプラザ」が開設されました。一方、駅の北側には、区民文化センター、行政サービスコーナー、運転免許センター、がんセンター等の公共施設が多く立地しています。鉄道網では、相鉄線とJR線・東横線の直通運転の開始も決まり、街の賑わいや人の流れも更に大きく変化するものと予想されます。

また、同地区は、平成20年(2008)5月「防犯モデル地区」に指定され、「安心安全なまちづくり」を目指して、地域ぐるみの防犯活動が活発に展開されています。



空から見た二俣川駅南口再開発地区

## 15 二俣川ニュータウン連合町内会



ニュータウン大運動会のような

二俣川ニュータウンは約4,000世帯、11,000人が住む閑静な住宅地です。

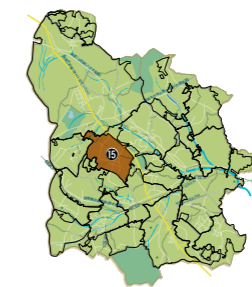
50年程前、東急建設が宅地開拓を行い、ニュータウンとして売り出しました。当初は、草木の茂る丘陵地帯を相鉄二俣川駅に近い方から第一町内会、第二町内会と街並みが整って来ました。

今では11町内会となり、第44回夏祭り、第42回運動会、マラソン大会等子ども大人も楽しめる自前の行事を毎年多く行っています。防災訓練も熱心に小学生、中学生、地域住民合同で取り組んでいます。

自慢の景色は写真のように、二俣川駅から運転試験場通りを経てニュータウンを抜ける道路の両側に映える銀杏・カエデ並木です。住んで楽しい、住んで良かった街をめざして今後とも頑張ります。



銀杏・カエデ並木



加入世帯数	3,983
連合設立	昭和 46 年
自治会町内会数	11
地区連合会長	野本 実

## 16 旭中央地区連合町内会

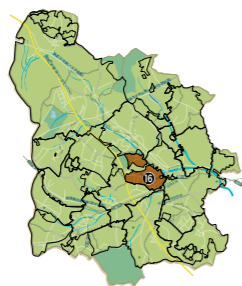


3世代ふれあいの集い会場風景



高齢者懇親会会場風景

加入世帯数	1,822
連合設立	昭和46年
自治会町内会数	5
地区連合会長	遠藤 章



旭中央地区はその名称が表すように、旭区のほぼ中央部に位置します。目標で表すと、旭区役所と旭警察署の間といえるでしょうか。南側には厚木街道・相模鉄道が通り、地理的な利便性は比較的良好いほうですが厚木街道以北は谷戸が入り組み、坂道が多いのが難といえます。

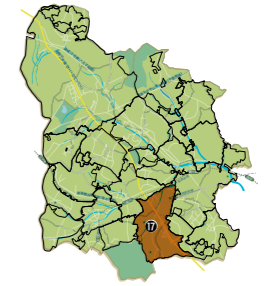
当地区所属の町内会は四季美台町内会・四季美台親睦会・今川町内会・上今宿町内会・下川町内会の5地区で構成され、各種の町内会行事を行っています。

特に秋の高齢者懇親会・年度末に行われる3世代美サイクルふれあいの集い等は、旭中央地区社会福祉協議会と共催若しくは後援という形で実施し、コミュニティバス運行にも力を入れています。

## 17 旭南部地区連合自治会



多数の参加者により親睦を深める運動会



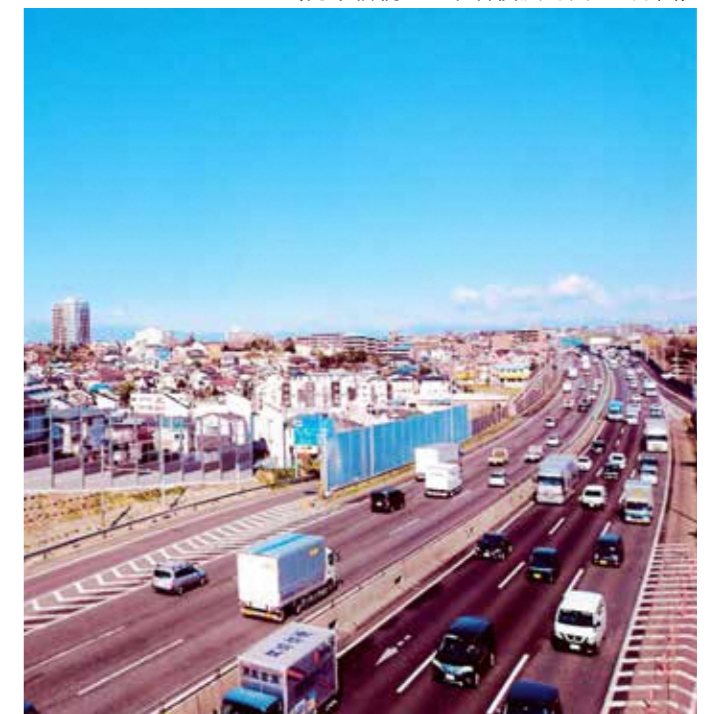
加入世帯数	3,700
連合設立	昭和46年
自治会町内会数	6
地区連合会長	福井 保男

地区を縦断する保土ヶ谷バイパス  
(南本宿橋から東名横浜町田I.C.方面)

旭南部地区は、二俣川駅より少し東に寄ったところであり、南本宿公園・南本宿市民の森・こども自然公園など多くの緑に囲まれた住宅地と畑地です。地区の真ん中を日本有数の交通量を誇る保土ヶ谷バイパスが東西に走っているのと、地区の西側を東海道新幹線が走りぬけている交通の要衝となっています。

地区の特徴はといえば、何といたっても運動会でしょう。昔ながらの綱引きや縄跳びがあり、「大黒さんリレー」や「さわやかリレー」など、地区の特色ある競技で一日が過ぎていきます。最後はやっぱり自治会対抗のリレーで締めくくります。

6つの自治会が協力し合って、防犯・防災の活動を行っています。連合主催の「防災訓練」や「防犯の集い」を毎年行って住民の意識を高めつつ、きずなも強めています。



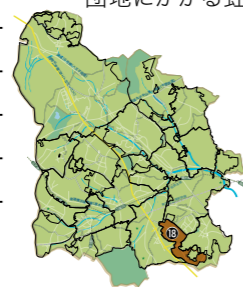


## 18 左近山連合自治会



団地にかかる虹

加入世帯数	4,342
連合設立	昭和 45 年
自治会町内会数	7
地区連合会長	林 重克



昭和43年(1968)に第1期の入居が始まり、初代の連合会長の筒井安忠さんが、南は沖縄から北は北海道からと全国各地から集まったお互いは、この左近山の地を第2の故郷にしよう、左近山コミュニティを築こうと呼びかけを行い、現在の左近山連合自治会の『住みよい、豊かな環境の整備された団地づくり、ふるさとづくり』が目標となり、活動を進めてまいりました。

今では、左近山団地、市沢団地地区が緑豊かな、住みよい街へと整備されてきましたが、残念ながら少子高齢化の波が、激しく襲いかかってきております。そのため、左近山連合自治会では、『NPO法人オールさこんやま』を結成し、多くの方々が集える居場所づくり「ほっと\*さこんやま」や、外出の手助けとなる「おでかけワゴン」の運行、子どもたちの居場所づくり「日曜ほっと」、小学生を対象とした塾ではなく勉強に興味の持てるような「さくら教室」等々を運営しています。

入居当時の念願であります「横浜高速環状鉄道」構想にも取り組み、中山駅以降左近山経由東戸塚方面への早期着工の活動を続けています。



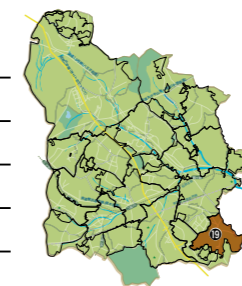
左近山連合自治会50周年記念式典

## 19 市沢地区連合町内会



芋煮会のような

加入世帯数	1,889
連合設立	昭和 43 年
自治会町内会数	6
地区連合会長	並木 淳一



市沢地区は、保土ヶ谷区と接する区の南東に位置し、戸建ての多い静かな地区です。平成13年(2001)に環状2号線が開通してから交通の便が良くなりましたが交通事故及び犯罪発生件数が増えています。

一方で、市沢の谷戸では今でもホタルが飛び交い、夏の風物詩となっています。また、広大な神田公園と隣接した市沢地区センターが市沢地区の活動の場となっております。

神田公園では、公園愛護会を中心に老人会、子ども会、地域住民で花壇の手入れ、芋煮会、グランドゴルフ等の活動をしています。

市沢小学校では、子どもたちと地域の交流イベント「市沢フェスタ」、「納涼盆踊り大会」、「町内会大運動会」等が行われています。文化活動では、毎年秋に「作品展」を開催して楽しんでおります。



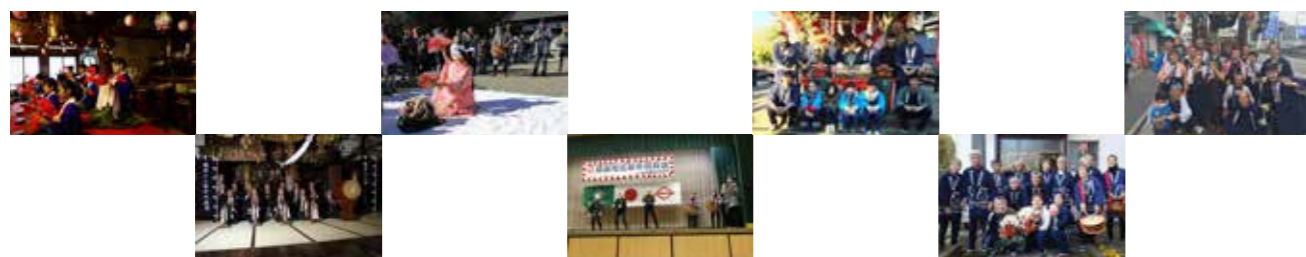
市沢囃子連

# 伝統芸能

旭区で長い歴史を持つ伝統芸能と、その活動団体を紹介します。

現在、旭区内では7つの団体が活動しており、稚児芸が1団体、念仏芸が1団体、祭囃子が5団体と なっています。いずれも江戸時代・明治時代から続いており、地域の歴史・文化において重要な役割を 果たしてきました。

これら地域に古くから伝わる伝統芸能には、昔ながらの趣深さや、地域と一体で醸し出される特有の 魅力があります。今後も旭区の伝統芸能活動が続き、地域の伝統が継承されることを願っています。



## ● 善部妙蓮寺の曲題目

善部妙蓮寺曲題目保存会

曲題目は、江戸末期ごろ、藤沢片瀬の伝兵衛という人から伝えられたといわれています。戦前、戦後は一時活動中止していましたが、昭和25年(1950)になり復活が検討され、同年4月に善部妙蓮寺曲題目保存会が結成されました。練習は主に子どもを対象として、お会式等の直前1か月間に集中的に行っています。下は4歳から上は中学生くらいまでの子どもたちが集まっており、小さい子どもに指導するときは大人が抱っこをして教えますが、途中で寝てしまう子もいます。平成3年(1991)には長年の功績が認められ、神奈川県指定無形民俗文化財として登録されました。



## ● 三佛寺双盤念仏

三佛寺双盤念仏講

双盤念仏は、本来は「浄土宗：十夜法要」時の「別時念仏」として奉納されるものでしたが、次第に豊作・五穀豊穰祈願と結びつき、伝統芸能として流布されるようになりました。双盤念仏の鉦の銘には貞享元年、享保8年と記されており、江戸初期からの長き伝統が伺えます。これまで、浄土宗総本山京都知恩院大殿、国立劇場、東京小石川伝通院など数々の舞台で活躍しています。昭和52年(1977)に神奈川県民族芸能50選に選出され、その後横浜市から無形民俗文化財保護団体として認定も受けています。口伝による「念仏」と伝承される「わざ」とともに、その「こころ」を伝え続けるところに、やりがいを感じ三佛寺本堂での練習に励んでいるそうです。



## ● 本村囃子

本村囃子連中

横浜市の無形民俗文化財保護団体に認定されている「本村囃子」は、少なくとも明治初期には伝えられていたといわれています。明治中期には、笛・太鼓の名人が10人近くいたそうで、当時の村社でもある本村神明社の神殿修復工事の落成式の際には、本村囃子連中が屋台で演奏したという話も伝わっています。戦時中は一時中断していましたが、戦後に復活し、昭和45年(1970)ごろからは、それまでの神田系のお囃子から東京城南囃子という山の手系のお囃子に演奏を切り替えて現在に至っており、毎年正月の2日には本村神明社の神前で伝統ある「獅子舞」を奉納しております。笛・大太鼓・太鼓・鉦の奏者の息が合った時のリズム感が何とも言えないそうです。



● 半ヶ谷囃子  
半ヶ谷囃子保存会

半ヶ谷囃子は、江戸末期から明治にかけて盛んであったと言われていいます。戦時中は一時中断していましたが、戦後しばらくして、阿久和囃子連の支援を受けて再興されました。以後、日吉神社祭、正月獅子舞等で活動を開始し、現在では町内での獅子舞のほか、小学校の地域授業での指導、幼稚園や老人ホームでの慰問も行っています。平成5年(1993)には横浜市の無形民俗文化財保護団体として認定証を頂きました。今では、小学1年生から70歳越えの幅広い層の連中で新旧入り混じって稽古に励んでいます。合奏を楽しみながらも、理想を求めて一生修行(現役)を目指しており、地域に密着した活動と人との関わりを大切にしています。



● 上白根囃子  
上白根囃子保存会

上白根囃子は、明治末期、村の青年たちがお囃子の練習を始めたと言われていいます。その後、戦争で中断し、昭和22年(1947)より再開。昭和62年(1987)に子ども会を通して人を募集し、その時残って続けてくれた子どもが現在青年となり、保存会を盛り上げています。練習は毎週水曜日の夜、上白根稲荷社で行っています。一生懸命練習し、本物の太鼓を叩き良い音を出せたときは、忘れることのできないよろこびで、一番のやりがいを感じます。平成7年(1995)に横浜市の無形民俗文化財保護団体として認定されました。



● 笠はや志  
笠はや志保存会

約180年前の江戸時代末期に、村の青年が江戸神田囃子を習い、伝えたのが「笠はや志」と言われています。180年の間一度も途切れることなく伝えられており、地域では最古のお囃子です。また、道具の中でも特に貴重な「大笑い」や「おかめ」の面は横浜市教育委員会の鑑定でも、当時有名な彫師が彫った面で、貴重な面であることが認められ大切に保存しており、次の代に引き継いでいきます。培ってきた地域芸能を多くの市民に知っていただくため精力的に活動しており、年間40回以上の公演を行っています。後継者育成と、更なる技術を磨くため、毎月第一と第三土曜日に笠町内会館で練習を行っています。平成20年(2008)に横浜市無形民俗文化財保護団体として認定されました。



● 市沢囃子  
市沢囃子連

市沢囃子は、明治時代初期、市沢町が都築郡市野澤村と呼ばれていた頃から、村人の娯楽の一つとして、又、神賑わいの奏楽の一員として、営々と継承されて来たものです。平成の時代に入り、後継者不足から消滅の危機に見舞われましたが、市沢熊野神社の世話人有志が若者の育成に努めた結果、今日では子どもたちも含め二十名余りの陣容で、お正月の獅子舞、祭り囃子他、地域の様々な行事に参加させていただき、演奏しております。



# 未来に残したい旭区50景

「未来に残したい旭区50景」は、旭区誕生40周年の際に選定された「旭40景」に、新たに10か所を加えたものです。古くからの言い伝えが残る史跡や、新たな賑わいを見せるスポットなど、区内の至る所に魅力的な風景が広がっています。



※この地図は概略図のため、多少の誤差があります。ご了承ください。

## 第1景 畠山重忠公史跡群

畠山重忠公は、平安時代末期から鎌倉時代初期に活躍した武将で、鎌倉幕府の創設にも力を尽くした源頼朝の忠臣でした。しかし、幕府の権力争いにまきこまれ、鎌倉に向かう途中、現在の鶴ヶ峰付近で討ち死にしました。地元の人たちの間では、その人柄をしのび、850年以上がたった今も語り継がれています。旭区内には、重忠公ゆかりの史跡が多く残されています。



畠山重忠公碑



六ツ塚



駕籠塚



首塚



遺烈碑

## 第2景 帷子川親水緑道

帷子川親水緑道は、区民が水辺に親しめるよう「水と緑のプロムナード事業」の一環として昭和63年(1988)に整備されました。

中島や池、吊り橋の奥にはバードウォッチングゾーンもあり、自然を活かした川岸と覆いかぶさる木々と竹林が、渓谷のような風景を創りだしています。平成20年度、この親水緑道は、都市景観大賞「美しいまちなみ特別賞」を受賞しました。



## 第3景 嶋崎金子稻荷社のタブノキ

このタブノキは、樹齢約300年と推定されています。このような古木が、単木で生活域に残されているのは、全国的にも珍しく「かながわの名木100選」に指定されています。



## 第4景 田原橋公園

この公園の蛇行する水辺は、昭和30年代の帷子川の流れをほうふつとさせます。水辺には、湿生植物を植え、水底に段差をつけて様々な生き物が生息しやすいように工夫されています。



## 第5景 白根神社・白根不動

白根神社(左)の本尊は、1寸7分(約5センチ)の不動明王の座像で、弘法大師の作とされています。前九年の役(1051~62)で、源義家がこの不動明王を兜の中に納めて大勝したことから、そのお礼として康平9年(1063)に鎌倉権五郎景政に命じてお堂を造営させたのが社の始まりとされています。広い境内には白根不動(右)も建立されており、昭和10年頃までは雑市や幟市が開かれていたということです。



白根神社



白根不動

## 第6景 白糸の滝

昔、白根地区にあったという大きな直滝が「水と緑と歴史のプロムナード事業」の一環として修復されました。滝のそばには、防人とその妻の相聞歌の歌碑があります。



## 第7景 帷子川分水路 取水庭

取水庭は、帷子川が大雨等で一定の流量を越えた時、分水路トンネルに雨水を流し込み、横浜港へ放流して、洪水を防ぎます。平成9年(1997)完成。



## 第8景 内藤鳴雪の句碑

上白根で俳句の会を主宰していた高橋紅子が内藤鳴雪の句碑を建てることにしました。鳴雪は、村人みんなが俳句をつくることに感心し、当地におもむき「夫は夫たり、婦は婦たりてぞ松涼し」と一句詠み、その句は碑に刻まれました。



## 第9景 ふるさと尾根道緑道と中堀川プロムナード



ふるさと尾根道緑道は、旭区の背骨にあたる稜線ー鶴ヶ峰配水池からズーラシアまでの導水路敷ーに沿って整備された遊歩道です。春は桜並木が美しく、平成12年度に国の「都市景観大賞」を受賞しました。



中堀川プロムナードは、雨水排水路として使われていた中堀川を下水道整備に伴い、せせらぎが流れる水と緑が豊かなプロムナードとして再生したものです。

## 第10景 鈴木家長屋門

長屋門とは、門の左右に居室等が接続している建築物のことで、使用人の居住用などに使われました。屋敷内には「たのかんさあ」(田の神様)という石像もあります。※敷地内立入不可



## 第11景 清来寺

江戸時代末期に、畠山重忠公の武勇をたたえるために編集された「夏野の露」という絵巻が伝えられています。





## 第12景 長源寺(上川井学校仮校舎)

開山が天平11年(739)といわれる由緒あるお寺で、永長年間(1096~97)には源義家が鎧を納めたと伝えられています。明治13年(1880)から2年余り、上川井学校の仮校舎として使用されていました。



## 第13景 水道道トロッコ史跡

明治20年(1887)わが国最初の近代水道が横浜に創設されました。運搬手段のなかった当時、鉄管などの運搬用にレールを敷き、トロッコを使用して水道管を敷設しました。そのレールが、八王子街道の歩道(川井本町川井橋付近)に保存されています。



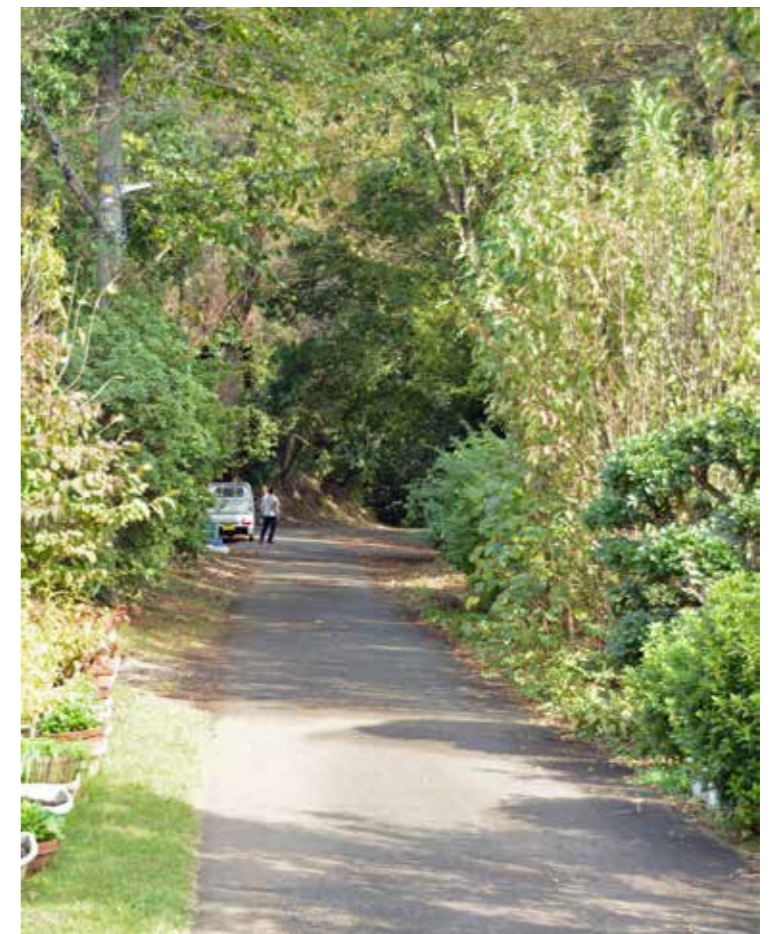
## 第14景 大貫谷戸水路橋

「神奈川の橋100選」に選ばれている横浜市水道局の鉄鋼製水路橋で、昭和27年(1952)に完成しました。橋長306m、トレスル橋脚を有する長大水路橋として全国的にも珍しい存在です。



## 第15景 旧八王子街道

旧八王子街道は、国道16号とからみあうような形で、今も大部分が残されています。八王子方面からは絹織物、横浜からは海産物などが行き交いました。区内には旧道の趣きが、亀甲山付近に一部残っています。



## 第16景 矢指・追分市民の森

春には菜の花、桃の花、夏はヒマワリ、秋にはコスモスの花畑が楽しめます。



八重ひまわり

## 第17景 下川井農業振興地域

露地野菜を中心にキャベツ、サツマイモ、ジャガイモ、サトイモ、トウモロコシ、ネギ、ダイコン、ハクサイ、ブルーベリー等が生産されています。





## 第18景 帷子川源流

若葉台団地そばに、帷子川の水源の一つがあります。上川井町小川アメニティとして整備されています。



## 第20景 希望が丘水の森公園

この公園の湧き水は、帷子川の源流の一つとなっています。源流となる湧き水が、市街地の中に残されているのは大変珍しく貴重な環境となっています。水源の周りには全国の湖沼や水路などに生息するヘラオモダカの水草が生い茂っています。

## 第19景 野境道路の桜並木

笹野台の西側を通る野境道路は、かつての武蔵国と相模国の国境の道です。桜の並木道は、春には見事な桜のトンネルとなり、夏は葉桜の木陰が涼しい通りとなります。



## 第21景 ねこ塚

元禄年間(1688~1703)の頃、巡礼中のおばあさんが善部の村を通りかかり、飢えと疲れのため亡くなりました。そばで一匹のねこがしきりに鳴いていましたが、間もなく後を追うように死にました。村人はその場におばあさんとねこを埋め、塚と石碑を建てて供養しました。それ以来「ねこ塚」と呼ばれています。





## 第22景 春ノ木神明社

江戸時代初期に起きた伝染病を鎮めるため、大切な家財道具などを神社境内に持ち寄って焼き、灰にして埋めた密教塚とも言われています。境内は、海拔92メートルと横浜市内の神社の中でもっとも標高が高く、プロサッカーチーム横浜FCの選手らが必勝祈願に参拝しています。



## 第23景 善部町のイチョウ並木

善部町第一公園付近から瀬谷区境にかけて、約600mにわたり、イチョウ並木が続いています。



## 第24景 新幹線(善部町)

旭区を東西に走りぬける東海道新幹線は、東京オリンピック開会の直前に開業(昭和39年(1964)10月1日)しました。

## 第25景 長昌寺と七地蔵

境内には、イボ取り地蔵があります。お地蔵さんの台座に上がっている小石を借りてイボをこすると、イボが取れるところから名付けられました。



## 第26景 こども自然公園

緑と水が豊かなこども自然公園は、市内有数の桜の名所です。春のお花見、夏のゲンジボタル、秋は紅葉、冬は渡り鳥など、四季折々の自然を楽しむことができます。また、園内の万騎が原ちびっこ動物園や青少年野外活動センターでは、より深く自然を理解することができます。

昭和47年(1972)6月開園

面積 464,118㎡



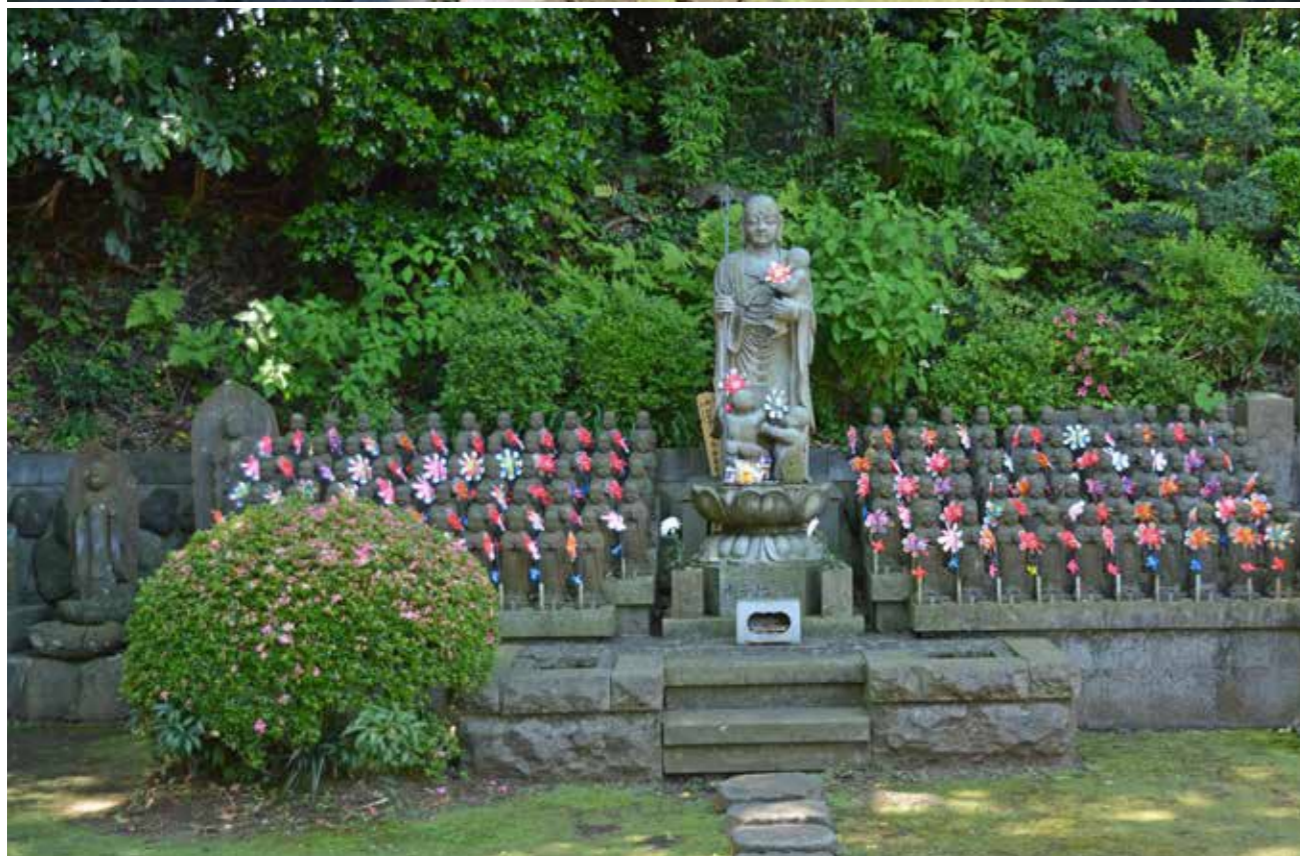
## 第27景 自然公園通り

二俣川駅とこども自然公園を結ぶイチョウ並木。この地は、畠山重忠公と北条勢が刃をまじえた古戦場と言われています。通りからやや離れたところに、明治25年(1892)に土地の有志57人により建立された「畠山重忠公遺烈碑」があります。



## 第28景 三佛寺

明治6年(1873)、三佛寺に二俣川学舎が設けられました。三佛寺は、武蔵国小机領子年観音霊場28番札所です。開基の地頭宅間治部少輔規富をはじめ、宅間一族の墓があります。

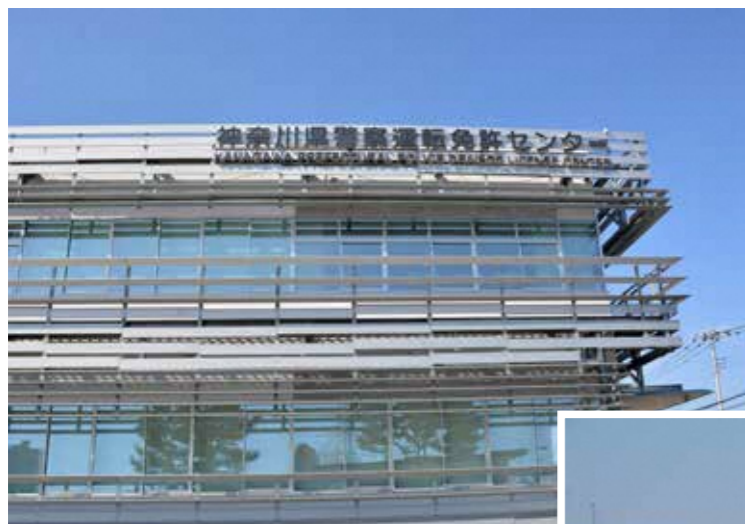


## 第29景 保土ヶ谷バイパス



旭区を南北に縦断する保土ヶ谷バイパス。昭和48年(1973)開通。平日昼間12時間の交通量は、10.4万台(平成27年度道路交通センサス)で、一般道路では日本一です。東名高速と首都高速を結ぶ重要なルートとなっています。





## 第30景 神奈川県警察運転 免許センター

県内で唯一の各種運転免許試験場。施設の老朽化に伴い平成30年(2018)にリニューアルしました。



## 第31景 二俣川ニュータウン の並木通り

ニュータウン通りは、約2kmにわたり両側にトウカエデやイチョウの並木が続き、新緑と紅葉の頃には美しい風景を満喫することができます。

## 第32景 本村神明社

この社は寛永19年(1642)に造営され、それ以来、二俣川村、今宿村の惣鎮守として多くの信仰を集めてきました。写真は6月下旬に開催された「茅の輪くぐり」という神事です。茅草で作られた輪をくぐり無病息災を祈願します。



## 第33景 旭区から望む富士山



ココロット鶴ヶ峰屋上より

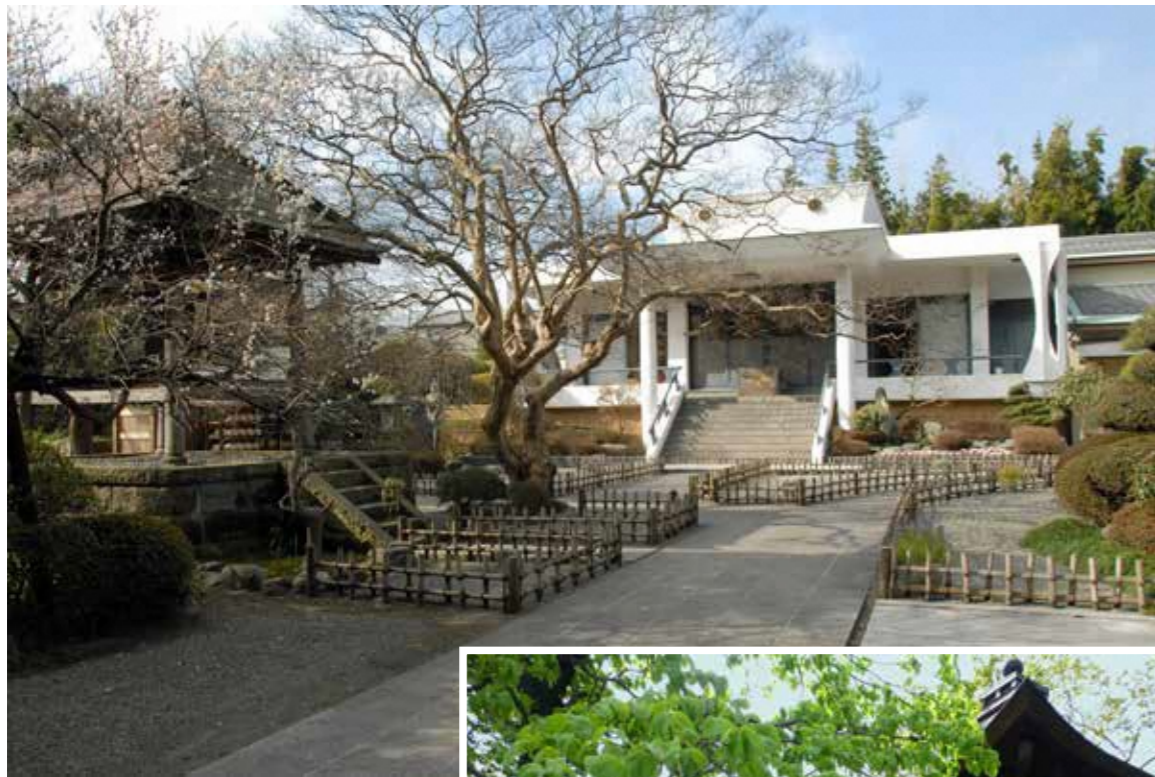




## 第34景 今川公園

グラウンド、テニスコート、多目的広場、日本庭園、遊具、芝生などの施設が整っています。遊具の種類も豊富で、子ども連れの家族が1日中楽しめる公園です。

開園 平成4年(1992)6月  
面積 83,009㎡



## 第35景 浄性院

境内にある洪鐘(おおかね)は、区内で最も古く、天明8年(1788)に鑄造されたものです。浄性院の裏手には「おかご坂」とよばれた坂があります。鎌倉時代、源頼朝がこのあたりに遊獵にきた時、輿をここに置いたためにこう呼ばれるようになったと伝えられています。



## 第36景 環状2号線

市沢町を横切る環状2号線(通称環2)は、平成10年(1998)鶴見区から磯子区まで暫定開通しました(一部2車線)。

## 第37景 市沢の谷戸 「蛭の里」

ゲンジボタルの棲息地。6月初旬にはホタルの乱舞が見られます。





## 第38景 ひかりが丘団地

[ひかりが丘団地] 昭和44年(1969)入居開始 2,325戸  
[西ひかりが丘団地] 昭和45年(1970)入居開始 961戸



## 第39景 左近山団地

昭和43年(1968)入居開始 4,797戸



## 第40景 若葉台団地

昭和54年(1979)入居開始 6,302戸



## 第41景 本立寺

日蓮宗池上本門寺の末寺。江戸中期の大奥の「絵島・生島事件」がこの寺と関わっていました。明治時代今宿学舎として使われました。



## 第42景 県立がんセンター

昭和38年(1963)4月に県立成人病センターとして発足しました。平成25年(2013)11月に病院を新築・移転し、平成27年(2015)12月重粒子線治療施設を開設し治療を始めました。



## 第43景 正円寺

浄土真宗の一派である京都佛光寺の末寺で、この寺を開基した1590年から白根地区の三代にわたり地頭であった「藤川拾右衛門重安」の殿墓が境内の墓地にあります。



## 第44景 鎌倉中の道

鎌倉時代、戦などの発生時に、各地の御家人が鎌倉を目指して駆けつける上・中・下の道の古道の一つでした。畠山重忠公も北条時政の謀略で鎌倉に呼び出され合戦となった地です。



## 第45景 薬王寺

以前は今宿南町にあった福泉寺の末寺。火災により寺が焼失し、昭和3年(1928)、畠山重忠公の霊廟として古来からこの地にあった六ツ塚に、現薬王寺として建立されました。



## 第46景 新川家住宅主屋

明治22年(1889)頃建築の古民家で、歴史的建造物に認定されています。入母屋造り、茅葺きで、両側面が兜状になり養蚕場に利用した面影が残り、通風、換気の役目を担いました。20~30年に一度京都から茅葺職人を呼ぶという新川家はこの地で300年以上の歴史のある農家です。※敷地内立入不可。



## 第47景 妙蓮寺

江戸後期より継承されている「曲題目」は神奈川県指定無形民俗文化財に登録されています。境内には鎌倉時代の武将和田義盛の供養塔があります。



## 第48景 よこはま動物園ズーラシア・里山ガーデン



里山ガーデンは、平成29年(2017)に開催された「第33回全国都市緑化よこはまフェア」の郊外部会場として、整備されました。1ヘクタールの大花壇は春と秋に一般公開され、季節の花々を楽しむことができます。

ズーラシア(ZOORASIA)という名称は動物園(ZOO)とユーラシア大陸(EURASIA)を合わせた造語で、平成8年(1996)に市民公募によって選ばれました。「ユーラシア大陸のように広大」という意味が込められています。



## 第49景 福泉寺

曹洞宗の寺で徳川家より10石の朱印地を下付されており、明治の頃川井学舎として使用されました。素晴らしい山門があります。



## 第50景 旭区のランドマーク(ココロット・グレースィアタワー)

二俣川・鶴ヶ峰駅周辺は、横浜市都市計画マスタープラン旭区プランにおいて、主要な生活拠点として位置付けられています。両駅周辺には、高層マンションが完成し、区の中心部に2つのランドマークが誕生しました。

ココロット鶴ヶ峰 平成19年(2007)完成29階建て  
グレースィアタワー二俣川 平成30年(2018)完成29階建て



ココロット鶴ヶ峰



グレースィアタワー二俣川



# 子ども達が描く未来の旭区

旭区誕生50周年を記念して、旭区の小学生が、思い描く未来の旭区を表現しました。小学生絵画コンクールを開催し、区内の小学校及び特別支援学校に在学する高学年(4～6学年)児童の皆様から、632点もの応募をいただきました。入賞8作品と入選6作品を紹介します(学校名、学年は平成30年度時点のものです)。

小学生絵画コンクール概要

応募期間:平成30年(2018)12月3日(月)～平成31年(2019)1月15日(火)

テーマ:「ぼく・わたしがえがく未来の旭区」

## 入賞作品



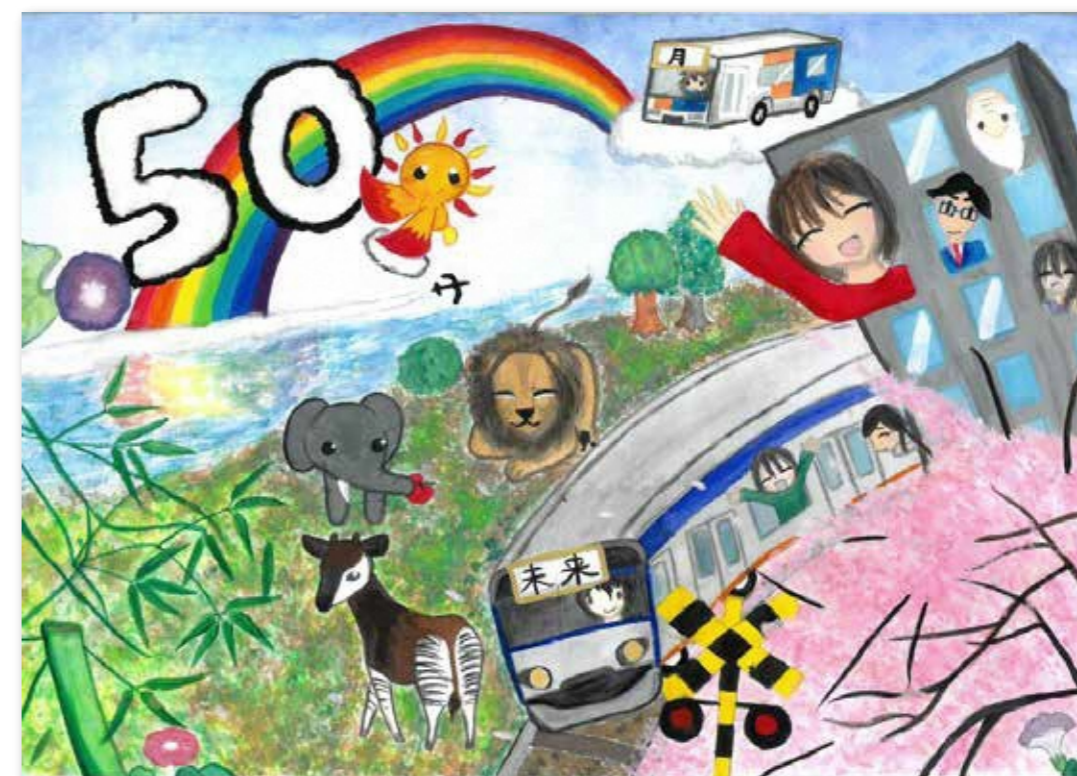
旭区誕生50周年記念事業  
実行委員長賞(最優秀賞)

「『みんな笑顔のまち』遊びと自然がある未来の旭区!!」  
中沢小学校 6年 井上太耀さん



旭区長賞

「空飛ぶ乗り物でまわる、ズーラシア空中エリア」  
万騎が原小学校 4年 佐藤衣理名さん



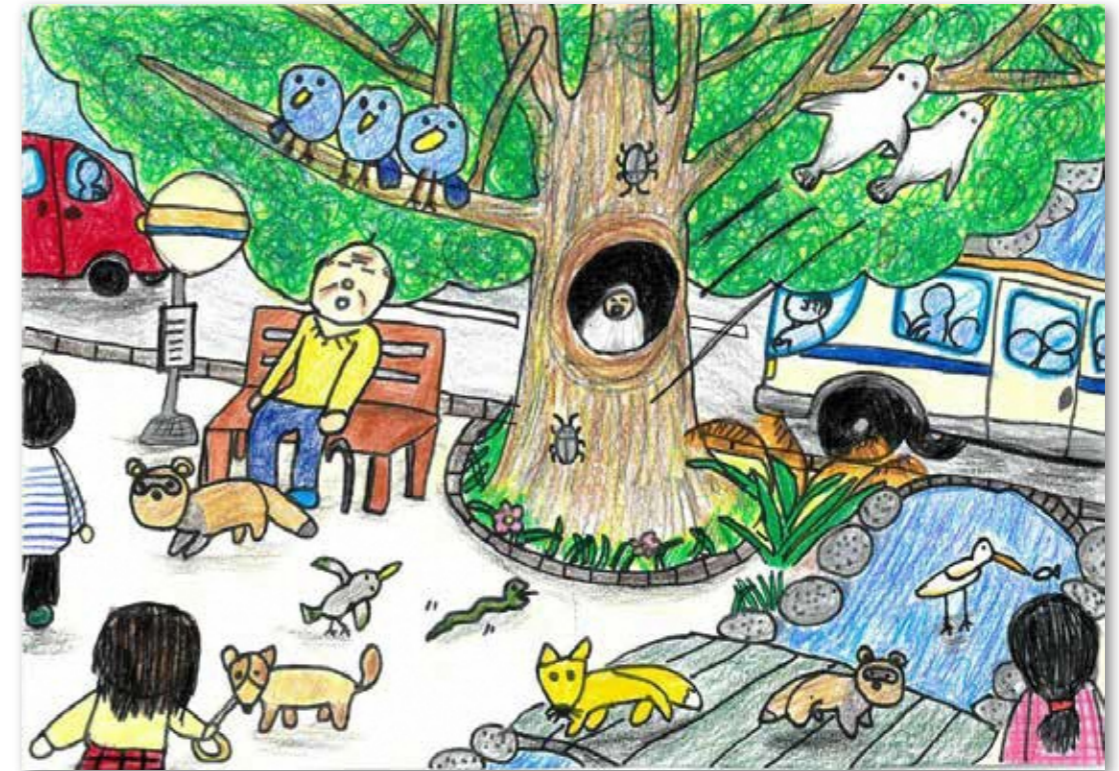
相鉄賞

「㊦ふれる自然 ㊧さえ合う街 ㊨かり輝く未来の旭区!!」  
鶴ヶ峯小学校 5年 山田遥香さん



優秀賞

「ほたる」  
希望ヶ丘小学校 6年 小泉結花さん



優秀賞

「すべての人、生き物、自然との共存を目指して・・・」  
左近山小学校 5年 酒出優輝さん



優秀賞

「自然いっぱい旭区をのこしたい」  
希望ヶ丘小学校 4年 佐々木亜澄さん



優秀賞

「私のふく未来のしゃぼん玉」  
若葉台小学校 6年 畠山恵実さん



優秀賞

「みんなの手形で、手をつなぐやさしい街をイメージ！」  
若葉台特別支援学校 B組小学部4年生

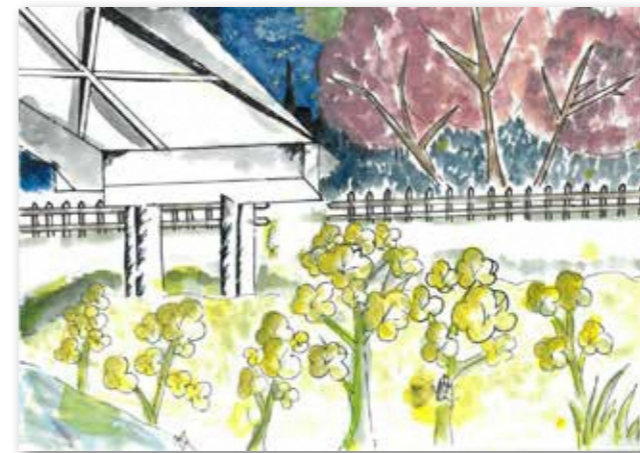
## 入選作品



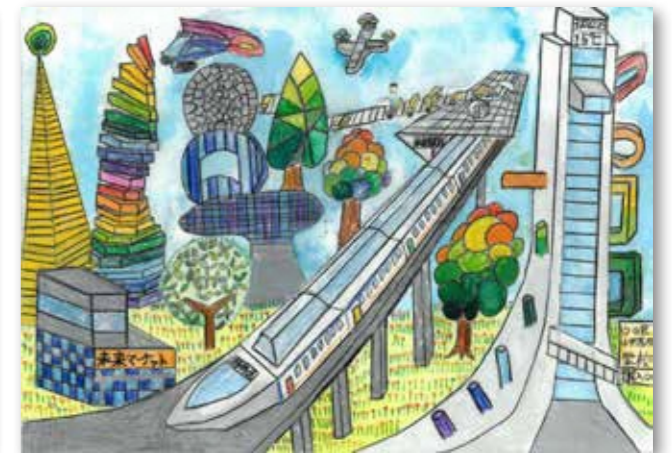
「これからも続く優しさと思いやりあふれる旭区」  
希望ヶ丘小学校 6年 山口桃音さん



「自然がいっぱいな未来の旭区」  
都岡小学校 4年 宮田心愛さん



「生き物が気持ちよくらせる自然がある  
未来の旭区」  
都岡小学校 4年 櫻井こころさん



「超特急リニアが走る高層ビルと自然の未来の旭区！」  
中沢小学校 4年 弘海光貴さん



「未来へ続け!稲作活動!～おいしいお米を育てたぞ～」  
万騎が原小学校 4年 黒田羽琉さん



「大池公園のほたる」  
万騎が原小学校 6年 神山柑那さん

### 対象校一覧(50音順)

- |         |         |          |           |
|---------|---------|----------|-----------|
| 市沢小学校   | 左近山小学校  | 鶴ヶ峯小学校   | 万騎が原小学校   |
| 今宿小学校   | 笹野台小学校  | 中尾小学校    | 南本宿小学校    |
| 今宿南小学校  | さちが丘小学校 | 中沢小学校    | 横浜三育小学校   |
| 上川井小学校  | 四季の森小学校 | 東希望ヶ丘小学校 | 若葉台小学校    |
| 上白根小学校  | 白根小学校   | 二俣川小学校   | 若葉台特別支援学校 |
| 川井小学校   | 善部小学校   | 不動丸小学校   |           |
| 希望ヶ丘小学校 | 都岡小学校   | 本宿小学校    |           |

協力:相鉄グループ(相鉄ホールディングス株式会社、相鉄バス株式会社)



# あさひの逸品

旭区への愛着を高めることを目的に、旭区内で販売・提供されている食べ物、飲み物の中で、特においしいと推薦のあったものや、旭区ならではの特徴のあるものを「あさひの逸品」として認定しています。

## 「あさひさんさんブランド」

旭区在住・在勤・在学のみなさまからの推薦の多かった29商品を認定しています。あさひさんさんブランドは赤いロゴマークです。



## 「あさひくんブランド」「島山重忠ブランド」

あさひくん、旭区ゆかりの鎌倉武将・島山重忠公にちなんだ27商品を認定しています。あさひくんブランドは水色、島山重忠ブランドは紫色のロゴマークです。



## 「食べて、歩いて、お買い物。もぐもぐ あさひの逸品 わくわく 商店街」

あさひの逸品を地区ごとの商店街に分けて紹介しているパンフレットです。商店会長のインタビューや各商店街のイベント情報等を掲載しています。

パンフレットは、旭区役所1階あさひの逸品紹介コーナーと区政推進課カウンター及び横浜市PRボックス(旭区内各駅、地区センター、ケアプラザ)に配架しています(令和元年(2019)10月現在)。パンフレットを片手に商店街を歩き、あさひの逸品をご賞味ください。

ぜひ、お気に入りの“わたしの逸品”を見つけてくださいね!



平成30年(2018)10月発行版

## あさひの逸品一覧(令和元年10月時点)



- ①宝屋チャーシュー(肴肉の宝屋)
- ②マヤライス ③あさひくんプレート  
(カフェレストラン マヤ)
- ④やきとり(鶏料理 そと川)
- ⑤ルージュ(ポーズカフェ)
- ⑥あさひくんクッキー・武士あさひくんクッキー  
(白根学園社会就労センター のぞみ)
- ⑦あさひくんランチ(食彩工房 旭区役所店)
- ⑧マドレーヌ(ミコミコカンパニー)



- ⑨鶴ヶ峰ロール ⑩プディング・サンド(不二家 鶴ヶ峰駅前店)
  - ⑪コーヒークッキー(まどか工房)
  - ⑫タカナシヨーグルトおなかへGG!(タカナシ乳業(株))
  - ⑬あさひくんパン(パン工房 なちゅ〜るロール)
  - ⑭秩父錦特別純米酒 旭の重忠(肴四季美台青木商店)
  - ⑮味噌ラーメン(中華 三好)
  - ⑯あさひくんホールケーキ(アマンデン洋菓子店)
  - ⑰重忠の銅鑼(松風堂)
  - ⑱食べるラー油(大龍飯店)
  - ⑲マグロ串焼き(千串屋本舗 二俣川店)
  - ⑳人気No1 つくね(やきとり処 い志井)
  - ㉑太陽のマドレーヌ(社会福祉法人くるみ会「くるみの木」)
  - ㉒朝焼きカステラ(焼きたてカステラの店 茶和 -sawa-)
  - ㉓おはぎ ㉔釜出し玉子焼き ㉕あさひくんののっけおはぎ  
(横浜茶屋 二俣川ライブ店)
  - ㉖ほまれ ㉗あさひくん プレミアム煎茶(榎渡邊園)
  - ㉘あさひくんプレート(洋食じゅり 二俣川ライブ店)
  - ㉙重忠御膳(仕立屋 二俣川ライブ店)
  - ㉚二俣川ロール ㉛二俣川プディング・サンド  
(FUJIYA ジョイナステラス二俣川店)
  - ㉜焼醤油大福(菓匠 寿々木)
  - ㉝「旭の重忠」シリーズ(旭の重忠豆腐 青木屋)
  - ㉞お刺身定食(ほっとさこんやま)
  - ㉟重忠銘茶(榎佐々木園)
  - ㊱あさひくんパン(こんがり工房(サポートセンター連内))
  - ㊲ムアンパライス(ズーラシアサバンナテラス)
  - ㊳お赤飯 ㊴重忠最中(手づくりの和菓子 若草)
  - ㊵神奈川県指定銘菓 億万両(横浜白根 億万両本舗 和作)
  - ㊶玄米チーズパン(越路)
  - ㊷アップルパイ ㊸ぼくは重忠・重忠のかぶと  
(ラ・フルール・ド・ポム)
  - ㊹あさひくんどら焼き(四季の和菓子 石井菓子舗)
  - ㊺「あさひくん」煮込みハンバーグ(肉のきよし)
  - ㊻あさひのベジにぎり(肴コメコメ)
  - ㊼あさひくんチヂミ〜ポテト&チーズ〜(キムチの由季家)
  - ㊽A'PPY&PANIERのジャム(第2あさひの家)
  - ㊾シフォンケーキ(コミュニティオフィス&ダイニング春)
  - ㊿天ぶら茶そば(和食・日本そば 運河)
  - ①みたらし団子(和菓子 伊勢屋)
  - ②つけ天(そば処 貴さ)
  - ③気まぐれ海鮮サラダ ④あさひくんカクテルサワー  
(ライブ居酒屋 「深海魚」)
  - ⑤シロコロホルモン(炭火焼肉大衆ホルモン「かもん」)
  - ⑥上にぎり(寿司 日本料理 一寿し)
- ※逸品名(店舗名)  
※掲載の順番は「食べて、歩いて、お買い物。もぐもぐあさひの逸品わくわく商店街」(平成30年(2018)10月発行)のものとは異なります。

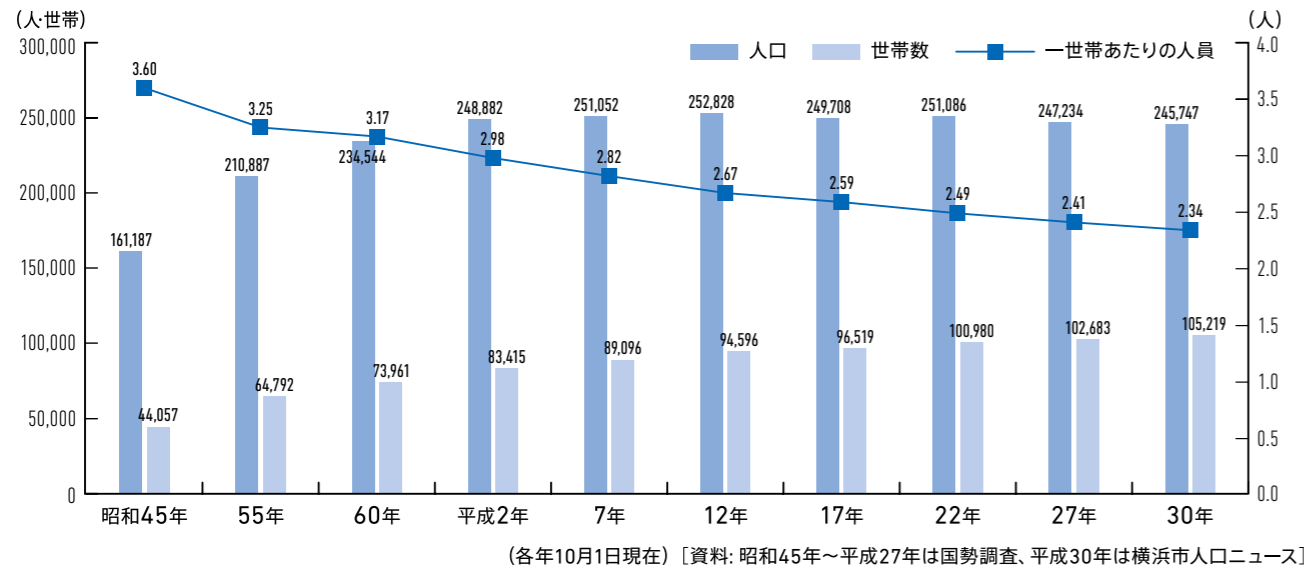
# 旭区のあゆみと世の中の出来事

	旭区のあゆみ	世の中のできごと
明治	<p>明治4年(1871)●廃藩置県がある。区内はそれまでの武蔵国都筑郡から神奈川県都筑郡(その一地域)になる。</p> <p>明治22年(1889)4月1日●市町村制施行に伴い、それまでの上川井村、下川井村、川井村、上白根村、下白根村、今宿村の6村が大きな都岡村となり、市野沢村、小高村、三反田村、今井村、二俣川村が同様に二俣川村となった。(今の旭区の大部分はこの2村だが、一部隣の西谷村に属した地域もある。)横浜市も誕生するが、現在の旭区の区域は含まれていない。この後、横浜市は市域拡張を繰り返し拡大していくが、二俣川村・都岡村は50年後、昭和14年の第6次市域拡張で編入される。</p>	<p>明治元年(1868)●明治維新</p> <p>明治3年(1870)●横浜毎日新聞(わが国最初の日刊日本語新聞)が創刊</p> <p>明治5年(1872)●新橋～横浜間に鉄道が開通</p> <p>明治22年(1889)2月●大日本帝国憲法発布</p> <p>4月●横浜に市制がしかれる(人口116,193人、面積5.40 km<sup>2</sup>)。</p> <p>7月●東海道本線全線開通</p>
大正	<p>大正11年(1922)●都岡村地区680戸、二俣川村地区650戸合わせて4,500人程が養蚕などを副業とした農業を行っていた。</p> <p>大正12年(1923)9月1日●関東大震災。死者11人、行方不明5人、全壊126戸(都岡、二俣川両村)</p> <p>大正15年(1926)5月12日●神中鉄道(相模鉄道の前身)が厚木～二俣川間で営業開始</p>	<p>大正12年(1923)●関東大震災(M8.1)発生。死者・行方不明者約10万5千人</p> <p>大正14年(1925)3月●NHKラジオ放送開始</p>
昭和	<p>昭和8年(1933)12月27日●神中鉄道 厚木～横浜間の全線開通。これと前後して道路整備も進む。</p> <p>昭和14年(1939)4月1日●横浜市に合併し、保土ヶ谷区に含まれる(世帯数1,312世帯、人口7,921人)。村名も改称され町となる。</p> <p>昭和18年(1943)4月1日●神中鉄道が相模鉄道に合併され、蒸気機関車からディーゼル車、電化へと進み、輸送力が強化され、通勤に便利な住宅地となってきた。</p> <p>昭和21年(1946)●住宅営団及び県営の住宅が鶴ヶ峰にできる。</p> <p>昭和24年(1949)12月28日●鶴ヶ峰駅前に保土ヶ谷区役所鶴ヶ峰出張所ができる。(世帯数3,282世帯、人口17,384人)</p> <p>昭和29年(1954)●神奈川県、横浜市、相模鉄道等が希望が丘に分譲住宅を造った。(～昭和36年)</p> <p>昭和30年代～●横浜の地場産業である捺染工場がきれいな水を求め、帷子川中流域(旭区内)に多数進出してきた。</p> <p>昭和33年(1958)●神奈川県、相模鉄道が万騎が原に県営、分譲住宅などを造った。(これ以後急速に宅地開発が進み、人口が激増していった。)(～昭和42年)</p> <p>昭和37年(1962)6月20日●保土ヶ谷区役所希望が丘出張所が設けられた。</p> <p>昭和39年(1964)4月1日●保土ヶ谷区役所鶴ヶ峰出張所を鶴ヶ峰支所と名称変更する。</p> <p>昭和43年(1968)●左近山、ひかりが丘に大規模団地ができ、この頃が人口増のピークとなる。(～昭和47年)</p> <p>昭和44年(1969)2月28日●保土ヶ谷区役所鶴ヶ峰支所新庁舎が落成する。(鶴ヶ峰一丁目)</p> <p>10月1日●横浜市は行政区再編成を行い、保土ヶ谷区から分区し旭区が誕生(世帯数37,082世帯、人口139,812人)</p> <p>昭和49年(1974)4月27日●旭区民会議が発足し、第一回旭区民会議が開催される。</p> <p>8月25日●八王子街道(国道16号線)のバイパスとして保土ヶ谷バイパス(自動車専用道路)が開通</p> <p>昭和51年(1976)4月8日●相鉄いずみ野線が開通(二俣川～いずみ野)し、区内には南万騎が原駅ができる。</p> <p>昭和54年(1979)●若葉台団地ができる。(～平成2年)</p> <p>昭和58年(1983)2月20日●旭区シンボルマークが制定される。</p>	<p>昭和14年(1939)●第6次市域拡張(人口866,200人・面積400.97km<sup>2</sup>)</p> <p>昭和20年(1945)5月29日●横浜大空襲</p> <p>8月15日●ポツダム宣言受諾</p> <p>昭和21年(1946)11月●日本国憲法公布(22年5月3日施行)</p> <p>昭和24年(1949)●野毛、反町で日本貿易博覧会開催</p> <p>昭和28年(1953)2月●NHKテレビ放送開始</p> <p>昭和31年(1956)9月●横浜市、政令指定都市となる。</p> <p>12月●国際連合に加盟</p> <p>昭和33年(1958)●開港百年記念祭</p> <p>昭和36年(1961)1月●マリントワー開業</p> <p>昭和37年(1962)●港の見える丘公園、横浜文化体育館が完成</p> <p>昭和39年(1964)10月1日●東海道新幹線が開通し、新横浜駅が開業</p> <p>10月10日●東京オリンピック開催</p> <p>昭和43年(1968)●市人口200万人突破(全国3位)</p> <p>昭和44年(1969)5月●東名高速道路全線開通</p> <p>7月●アポロ11号が人類初月面着陸</p> <p>昭和49年(1974)●人口250万人突破</p> <p>昭和51年(1976)9月4日●市営地下鉄開業(上大岡～上永谷間、伊勢佐木長者町～横浜間)</p> <p>昭和54年(1979)12月●横浜シティ・エア・ターミナル(YCAT)開業</p> <p>昭和58年(1983)●みなとみらい21事業に着手</p>

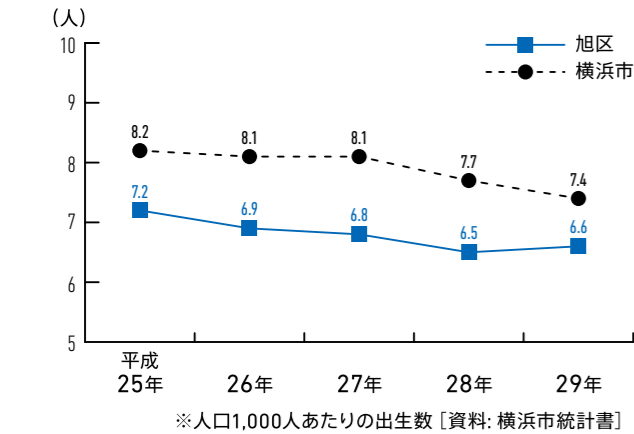
	旭区のあゆみ	世の中のできごと
平成	<p>平成元年(1989)2月4日●区の花「あさがお」、区の昆虫「ホタル」が制定される。</p> <p>平成2年(1990)4月4日●相鉄いずみ野線(いずみ野～いずみ中央)開業</p> <p>平成4年(1992)4月11日●二俣川駅構内に行政サービスコーナーが開設される。</p> <p>平成6年(1994)7月1日●機構改革に伴い、これまで衛生局の機構であった保健所が区役所の機構となる。</p> <p>平成8年(1996)3月●二俣川駅北口地区再開発事業(アルコット二俣川)竣工</p> <p>平成11年(1999)3月10日●相鉄いずみ野線(いずみ中央～湘南台)開業</p> <p>4月24日●よこはま動物園「ズーラシア」開園(上白根町)</p> <p>10月31日●区の木「どうだんつじ」制定</p> <p>平成13年(2001)3月30日●環状2号線全面開通</p> <p>平成15年(2003)12月15日●中原街道(旭区部分)拡張工事完了</p> <p>平成17年(2005)4月1日●機構改革に伴い、これまで道路局の機構であった土木事務所が区役所の機構となる。</p> <p>平成18年(2006)3月31日●帷子川旧河川跡地に「鎧の渡し緑道」がオープンする。</p> <p>平成19年(2007)9月6日●鶴ヶ峰駅南口地区再開発事業(ココロット鶴ヶ峰)開業</p> <p>10月1日●市民活動支援センター「みなくる」がココロット鶴ヶ峰にオープンする。</p> <p>平成20年(2008)4月●区役所1階ロビーに情報発信コーナーを開設する。</p> <p>10月26日●旭区マスコットキャラクター「あさひくん」誕生</p> <p>平成21年(2009)3月30日●上白根町に「中堀川プロムナード」がオープンする。</p> <p>4月19日●第20回全国「みどりの愛護」のつどいが横浜動物の森公園で開催される。</p> <p>7月4日●「開国博Y150」ヒルサイドエリアがオープンする。</p> <p>10月17日●旭区誕生40周年記念式典</p> <p>平成23年(2011)●震災による計画停電の影響でズーラシアが臨時休園や短縮営業を行う。</p> <p>●被災地への義捐金のため、区民が二俣川駅で募金活動を行う。</p> <p>平成25年(2013)●前山橋・今宿橋の拡幅され、交互通行から2車線に変更される。</p> <p>平成26年(2014)●鶴ヶ峰駅前の「鶴ヶ峰まちかど広場」がリニューアルオープン</p> <p>平成27年(2015)4月22日●よこはま動物園「ズーラシア」にサバンナエリアが全面オープン</p> <p>平成29年(2017)3月25日～●「第33回全国都市緑化よこはまフェア ガーデンネックレス横浜2017」が里山ガーデンで開催。以降、この成果を継承した「里山ガーデンフェスタ」が毎年春秋2回開催</p> <p>平成30年(2018)3月●二俣川駅南口地区再開発事業(コプレ二俣川)竣工</p> <p>平成31年(2019)1月●二俣川駅北口の「運転免許センター入口」交差点の改良により渋滞が緩和される。</p> <p>3月23日●「ガーデンネックレス横浜2019」が里山ガーデンで開催される。(～令和元年5月6日)</p>	<p>平成元年(1989)3月●横浜博覧会がみなとみらい21地区で開催</p> <p>9月●市の花として「バラ」を制定</p> <p>9月●横浜ベイブリッジが開通</p> <p>平成5年(1993)●横浜八景島、ランドマークタワー開業</p> <p>平成6年(1994)●国連防災世界会議、第10回国際エイズ会議開催(パシフィコ横浜)</p> <p>11月●行政区の再編。港北・緑区から青葉・都筑区が誕生し18区となる。</p> <p>平成7年(1995)1月17日●阪神淡路大震災(M7.3)</p> <p>平成8年(1996)●第7回国際廃棄物会議(パシフィコ横浜)</p> <p>平成10年(1998)●長野オリンピック●横浜ベイスターズ優勝</p> <p>平成11年(1999)8月●市営地下鉄開業(戸塚～湘南台間)</p> <p>平成13年(2001)9月11日●アメリカ同時多発テロ</p> <p>平成14年(2002)5月●サッカーW杯日韓大会(～6月)</p> <p>平成17年(2005)3月25日●愛知万博開幕(～9月25日)</p> <p>4月25日●JR福知山線脱線事故</p> <p>平成20年(2008)4月●後期高齢者医療制度開始</p> <p>5月●第4回アフリカ開発会議開催(パシフィコ横浜)</p> <p>平成21年(2009)●開国博Y150が開催(4月～9月)</p> <p>平成23年(2011)3月11日●東日本大震災(M9.0)</p> <p>7月●女子サッカーW杯なでしこジャパン優勝</p>
令和	<p>令和元年(2019)10月19日●旭区誕生50周年記念式典</p>	<p>令和元年(2019)5月1日●令和に改元</p> <p>平成27年(2015)3月●北陸新幹線(長野～金沢)開業</p> <p>平成28年(2016)4月●熊本地震が発生。震度7の地震が2度観測される。</p> <p>平成31年(2019)4月1日●新元号「令和」を発表</p> <p>4月30日●平成天皇生前退位</p>

# データでみるあさひ区

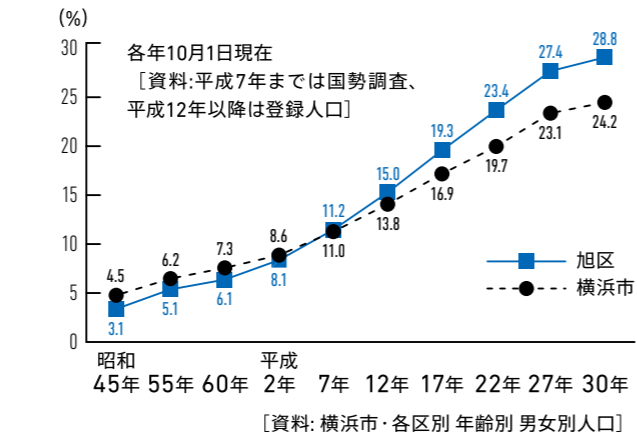
## 旭区 人口及び世帯数の推移



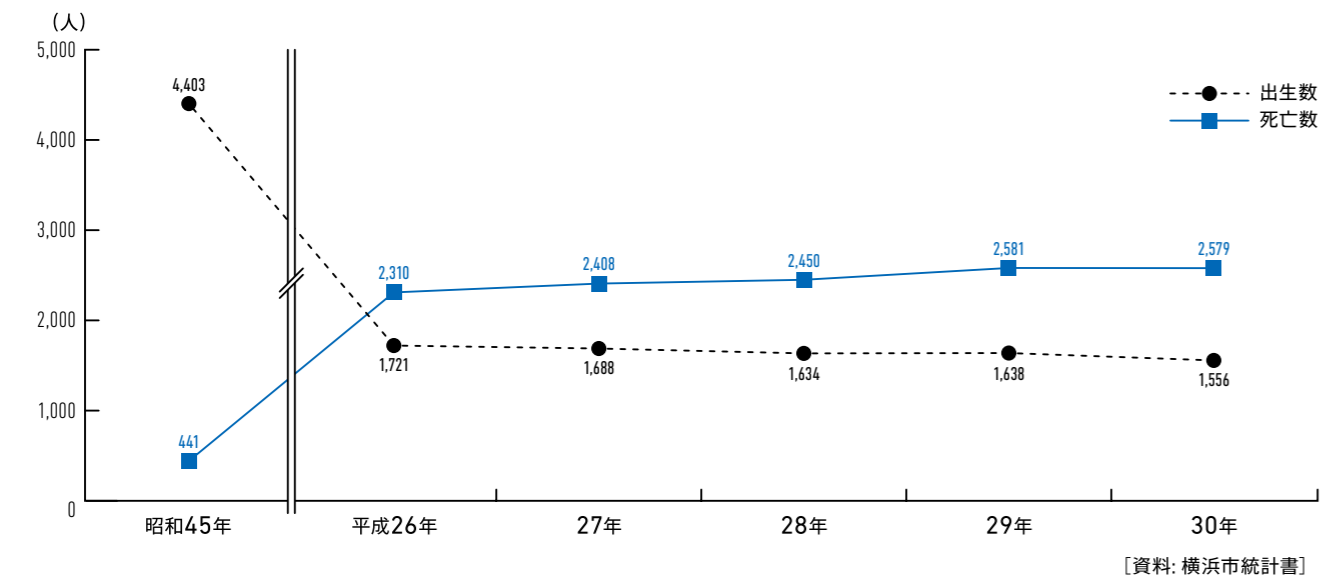
## 旭区 出生率推移



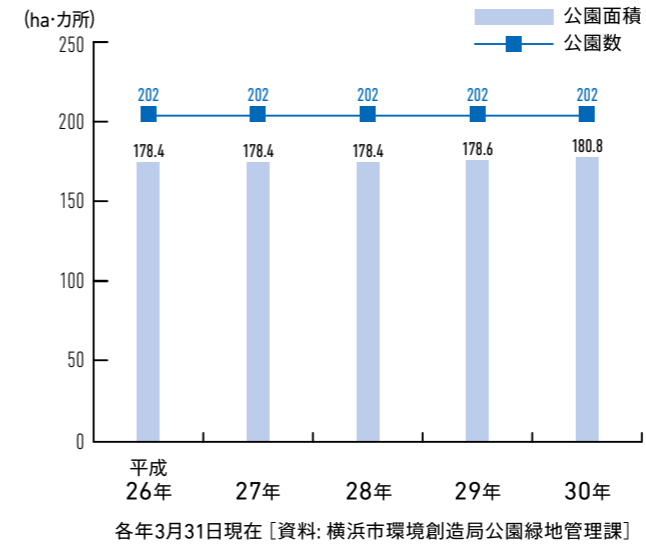
## 旭区 高齢化率 (老年人口比率) の推移



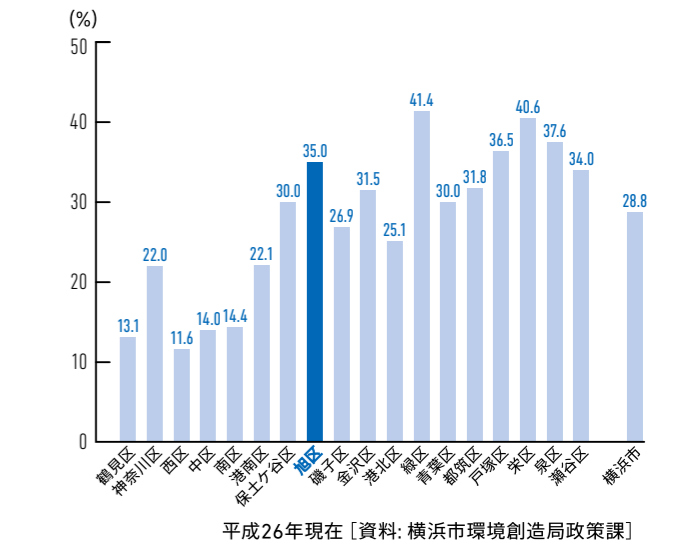
## 旭区 出生数と死亡数の推移



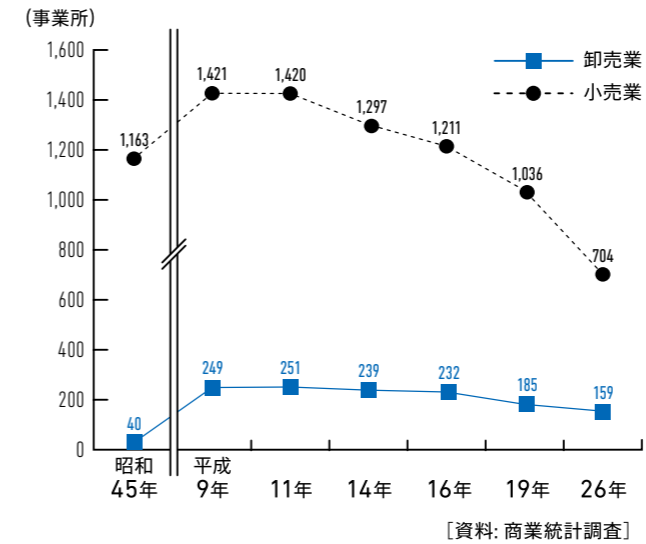
## 旭区 公園整備状況の推移



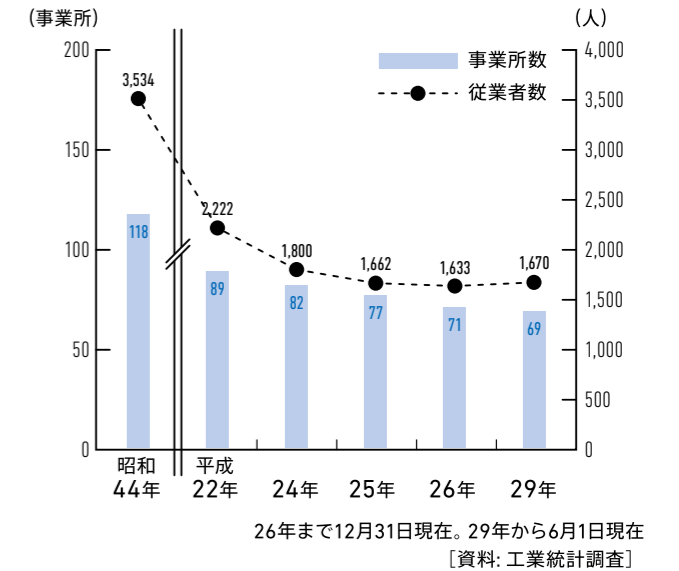
## 区別緑被率



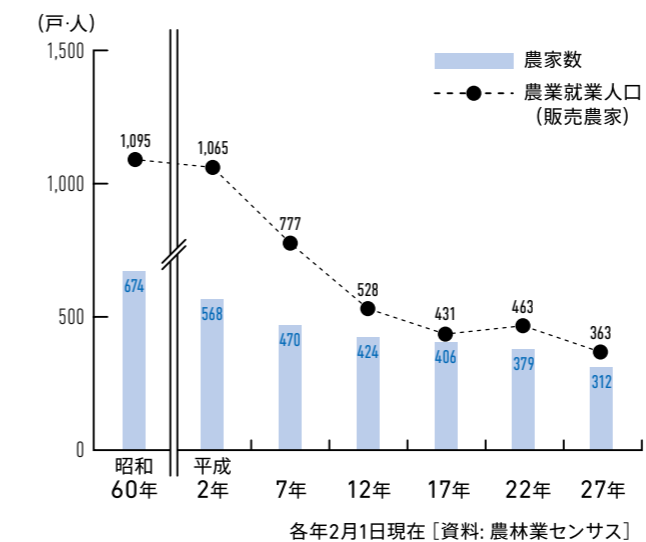
## 旭区 商店数推移



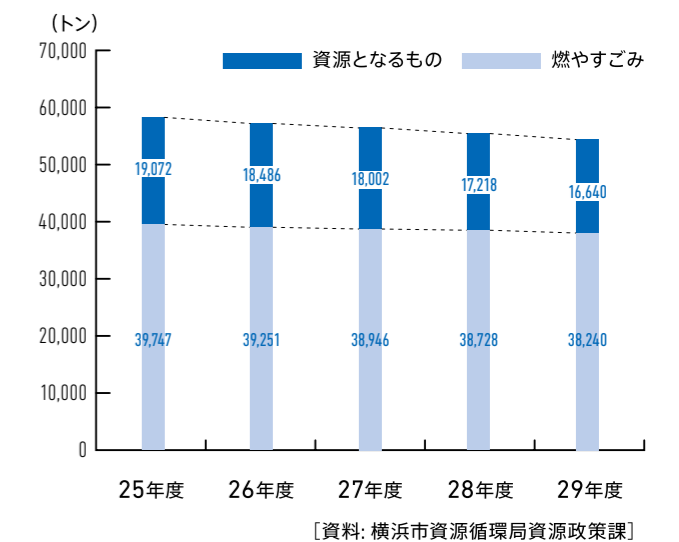
## 旭区 工業事業所数・従業者数の推移



## 旭区 農家数・農業就業人口の推移



## 旭区 燃やすごみと資源となるものの収集量の推移



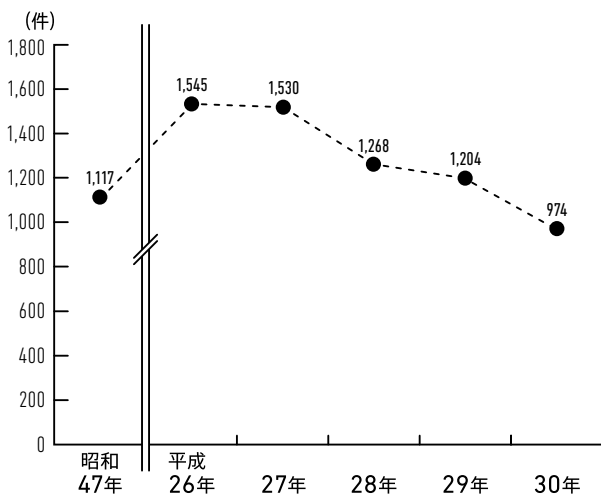
## 学校の状況

[平成30年5月1日現在]

[昭和45年]

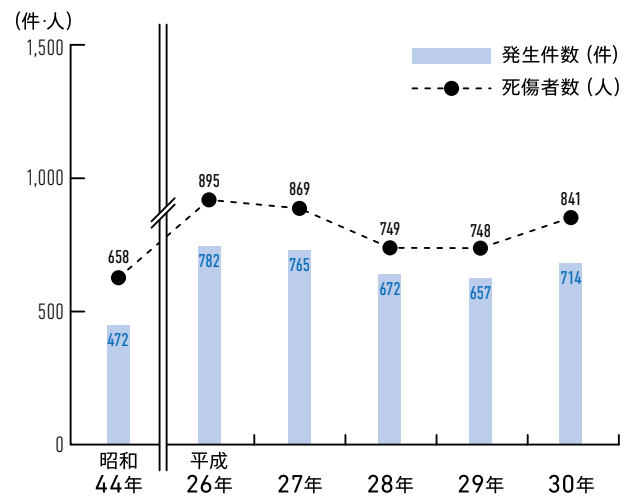
	[平成30年5月1日現在]				[昭和45年]			
	学校数	学級数	児童・生徒数	教員数	学校数	学級数		
旭区	幼稚園	20	141	2,913	20	-	幼稚園	旭区
	認定こども園	4	39	1,064	-	-	認定こども園	
	小学校	25	455	12,247	17	367	小学校	
	中学校	13	187	5,533	4	98	中学校	
	高等学校	7	-	5,309	3	-	高等学校	
	中等教育学校	1	-	213	-	-	中等教育学校	
横浜市	幼稚園	251	1,890	44,315	248	-	幼稚園	横浜市
	認定こども園	29	274	7,050	-	-	認定こども園	
	小学校	352	6,822	185,423	195	4,628	小学校	
	中学校	179	2,854	90,740	99	1,766	中学校	
	高等学校	93	-	84,475	248	-	高等学校	
	中等教育学校	2	-	1,143	-	-	中等教育学校	

### 旭区 犯罪発生件数の推移



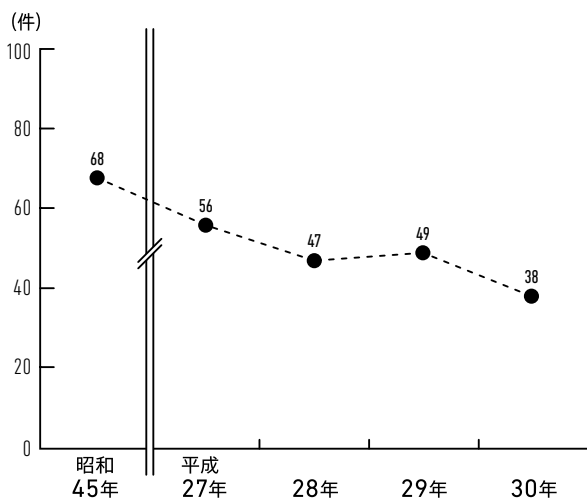
[資料: 旭警察署]

### 旭区 交通事故発生件数と死傷者数の推移



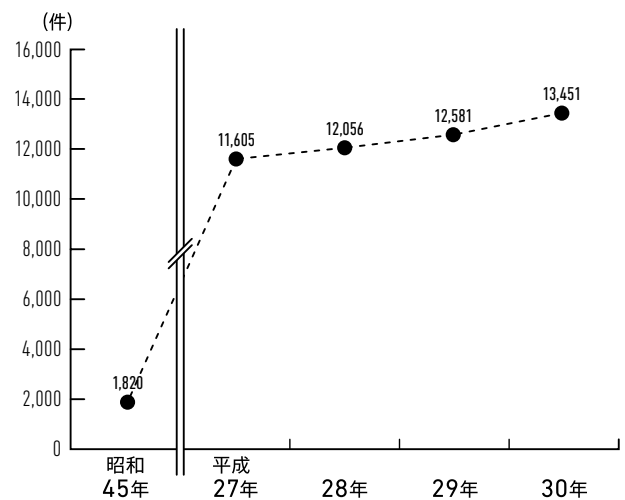
[資料: 旭警察署]

### 旭区 火災発生件数の推移



データは平成31年1月時点の速報値 [資料: 横浜市消防局旭消防署]

### 旭区 救急出場件数の推移



データは平成31年1月時点の速報値 [資料: 横浜市消防局旭消防署]

# 協賛企業・団体

記念事業の実施にあたり、趣旨に御賛同をいただいた多くの方から御協賛を賜りました。御協賛をいただいたすべての皆様に心より御礼申し上げます。

ここでは、御協賛者のうち一部の方を御紹介いたします。

※順不同・敬称略

わたしたちはみなさまに夢と活力をお届けします。



**株式会社 坂本興業**


坂本興業グループ ㈱旭土地建物 ㈱坂本不動産 坂本祭典 SKホテル



タクシー無線配車センター  
☎ 045-360-1144

**ふたえ交通(株)**  
☎ 045-362-5315

ISO 9001 認証 登録番号 JQA-QM 6438



NEW CLEANING SYSTEM  
**株式会社 横浜ドライ**

本社・工場 横浜市旭区川井本町5番地  
〒241-0803 電話 (045) 951-1777 (代表)  
FAX (045) 951-1752



YOKOHAMA **土木建設用機械**  
総合リース・販売修理・レンタル

**株式会社 横浜レンタル**



**キタザワ**  
北沢建設株式会社



エネルギーアドバイザー  
**株式会社 シンサナミ**

**大和証券**

Daiwa Securities

Takanashi **タカナシ乳業**

**YOCV**

地域いきいき、暮らしわくわく



YOKOHAMA 一般財団法人 若葉台  
WAKABADAI まちづくりセンター

URL : <http://www.wakabadai-kc.or.jp/>

旭区商店会連合会



学校法人国際学園 星槎中学高等学校

旭区チャリティーゴルフ  
大会実行委員会



旭区生誕50周年おめでとうございます。



旭区医師会

旭区歯科医師会

旭区薬剤師会

一般社団法人あさひ  
区民利用施設協会

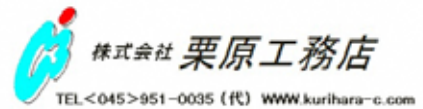
真心こめてお手伝いいたします  
**家族葬・一般葬**  
葬儀の板橋 ほうさい殿

金澤工業株式会社



宅地建物取引業 神奈川県免許(13)第0289号  
株式会社 神奈川宅建  
〒241-0825 横浜市旭区中島第1103-5  
TEL:045-969-2015 内 FAX:045-969-3832 Eメール:kanataku@iris.eon.ne.jp

\*防災周辺商品取り扱い\*  
**lcp 株式会社 金原**  
商品センター 上白根町・都岡町



株式会社 栗原工務店

TEL<045>951-0035 (代) WWW.kurihara-c.com

社会福祉法人清正会  
グリンサイド清盛



一般財団法人  
シニアライフ振興財団

【所属】神奈川県住宅供給公社グループ

株式会社 ショウエイ

医療法人 誠心会



聖マリアンナ医科大学  
横浜市西部病院

株式会社 青武組

大成鋳業株式会社



こぼんはうす さくら  
二俣川教室

カギの交換から新築まで、家のことなら  
1,000棟以上の新築実績を持つ当社にお任せ下さい!  
神奈川県知事許可(特-24)第40706号/神奈川県知事(特)第213507号  
不動産・建築・リフォーム  
**藤松産業株式会社**  
☎(363)6879 ☎(364)8985  
旭区さちが丘19-1



横浜旭ライオンズクラブ  
地域に感謝し、活動する  
社会奉仕団体です。



国際ロータリー第2590地区  
横浜旭ロータリークラブ  
The Rotary Club of Yokohama Asahi



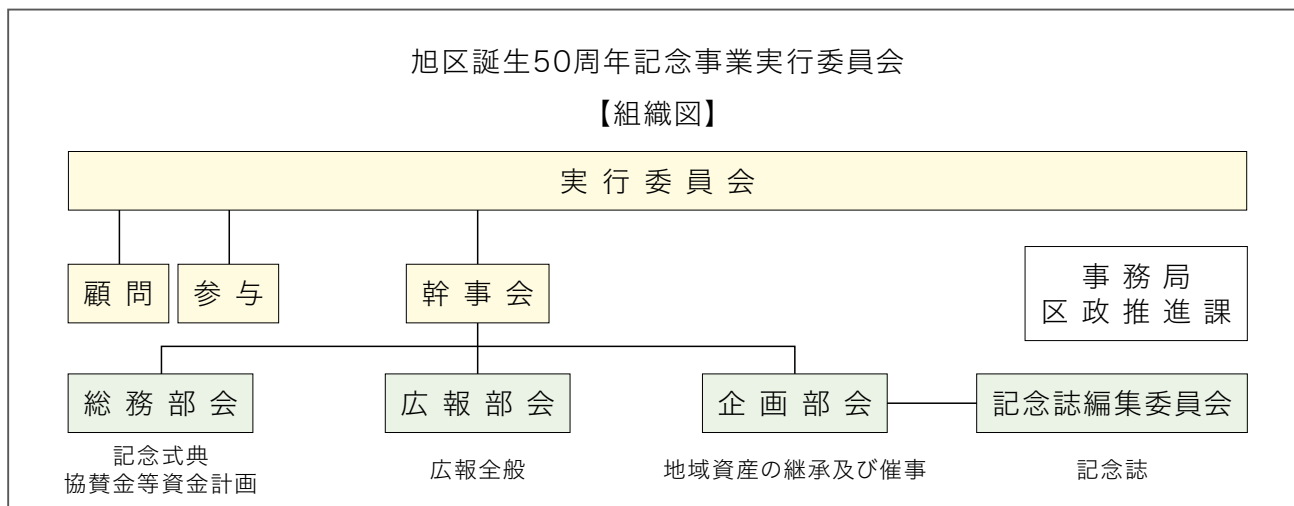
横浜銀行



JA横浜

旭区誕生50周年記念事業実行委員会

【組織図】



【役員】

委員長 山岸 弘樹  
副委員長 林 重克  
副委員長・会計 安藤 眞弘  
副委員長 中野 文雄  
副委員長 池田 宏史  
副委員長 関水 英敬  
監事 峰松 雅子  
監事 内田 紘司

【実行委員】

総務部会長 中野 保弘  
広報部会長 栗原 郁夫  
企画部会長 峯宇 邦男  
勝呂旭／渋谷八郎／林田司郎  
／大田陽夫／松本榮次／丹野  
康祐／玄野孝善／徳久和彦／  
野本実／遠藤章／福井保男／  
並木淳一／荒木要／大野功／  
嶋崎伸子／大藤則子／内田隆  
／坂本武／堀江幸子／小磯守  
／佐々木守雄／中野信幸／伊  
澤万樹／一色聡一郎／江口康  
久万／日向彰／北川泰彦／松  
谷英司／朝倉豊／荒嶋敬子／  
山本茂／西山宏二郎／瀬戸明  
美／水野智也／太田京子／清  
水満正／小松康夫／林正男／  
齊藤由紀子／西澤清／寺井享  
／市川信孝／山城英哲／田中  
一弘／福田有二／多田稔／京

克樹／宇山知成／伊藤美則／  
植田喜美芳／高橋静豪／井口  
由多可／小川和男／石井泰彦  
／佐藤真吾／柳室敏明／関戸  
俊男／内田龍治／駒寄健

【顧問】

横浜市会議員  
佐藤 茂 議員  
古川 直季 議員  
小粥 康弘 議員  
河治 民夫 議員  
大岩真善和 議員  
木内 秀一 議員

神奈川県会議員

小野寺慎一郎 議員  
磯本桂太郎 議員  
須田 幸平 議員

衆議院議員

青柳陽一郎 議員  
串田 誠一 議員

【参与】

下田康晴／佐藤修／川村滋／  
徳竹直美／山崎隆弘／佐藤輝  
一／古川明彦／榎下陽一郎／  
鬼丸勉／小澤紀子／川俣浩一  
／荒井昌典／丸山知志／五十  
嵐隆／西嶋祐一／白井一夫／  
小磯行生／岡ノ谷雅之／齋藤  
真美奈／渡邊知幸

【前実行委員】

佐々木明男／嘉村訓价／中山  
喜己雄／神谷由美子／守田浩  
／佐藤郁子／通木光男／長山  
眞佐美／上村忠／加藤輝夫  
／市川慎二／宮西隆行／座間  
覚／高橋久蔵／櫻井貞久／金  
原正和／福田正広／海谷全史  
／新野尾寿利／中屋敦子／篠  
崎眞由美／佐藤公則／上平剛  
靖／滝澤亮／馬場淳／渋谷  
一郎／藤本直樹／伊東正子／  
白鳥基裕

【前顧問】

和田 卓生 前横浜市会議員  
伊藤 康宏 前神奈川県会議員  
上田 勇 前衆議院議員

【前参与】

市川弘幸／吉永悦郎／平野成  
昭／石田一臣／俵節子／小室  
徹／川崎敬生／池戸淳子／日  
下部裕也／大山潔／藤沢佳文  
／中村雅一／福岡いつみ／生  
井秀一／浦野寛充／鈴木幸  
子／松村克紀／高野つる代

※敬称略・順不同

## 協力者一覧

鶴ヶ峰地区町内会連合会  
白根地区町内会自治会連合会  
旭北地区連合自治会  
上白根連合自治会  
今宿地区町内会自治会連合会  
川井地区町内会自治会連合会  
若葉台連合自治会  
笹野台地区連合自治会  
希望が丘連合自治会  
希望が丘東地区連合自治会  
希望が丘南地区連合自治会  
さちが丘地区連合自治会  
万騎が原連合自治会  
二俣川地区連合自治会  
二俣川ニュータウン連合町内会  
旭中央地区連合町内会  
旭南部地区連合自治会  
左近山連合自治会  
市沢地区連合町内会  
善部妙蓮寺曲題目保存会  
三佛寺双盤念仏講  
本村囃子連中  
半ヶ谷囃子保存会  
上白根囃子保存会  
笠はや志保存会  
市沢囃子連  
嶋崎金子稻荷社  
白根神社  
上白根稻荷社  
鈴木家長屋門  
清来寺  
長源寺  
春ノ木神明社  
長昌寺  
三佛寺  
本村神明社  
浄性院  
本立寺  
正円寺  
薬王寺  
新川家住宅主屋  
妙蓮寺  
福泉寺  
よこはま動物園ズーラシア  
相鉄ホールディングス株式会社  
相鉄ビジネスサービス株式会社  
旭ガイドボランティアの会  
森日出夫  
鈴木安広

※敬称略・順不同

## 旭区誕生50周年記念誌発行に寄せて

旭区誕生50周年を迎えるにあたり、平成29年8月に旭区誕生50周年記念事業実行委員会が発足し、旭区の魅力を再認識し、新たなつながりをつくる機会とするため、様々な記念事業が展開されてまいりました。

この記念誌の発行も記念事業の一環として、記念誌編集委員会が中心となり進めてきたものです。多くの皆様から御協力をいただき、旭区の魅力ある自然、歴史遺産、人、地域活動、そして新たなランドマーク等の写真や「子ども達が描く未来」を収め、旭区誕生50周年にふさわしい充実した内容となりました。本誌を通して、旭区の魅力を再認識し、未来へ伝えていくための一助となれば幸いです。

最後に、「旭区誕生50周年記念事業」の取組に関わってくださった多くの皆様に感謝申し上げます。

令和元年10月

旭区誕生50周年記念事業実行委員会 委員長 山岸 弘樹

## 旭区誕生50周年記念事業実行委員会 記念誌編集委員会

委員長	峯宇 邦男	鶴ヶ峰地区町内会連合会	会長
副委員長	高橋 久蔵	笹野台地区連合自治会	前会長
委員	渋谷 八郎	旭北地区連合自治会	会長
〃	玄野 孝善	さちが丘地区連合自治会	会長
〃	内田 紘司	二俣川地区連合自治会	会長
〃	山城 英哲	相鉄ホールディングス株式会社経営戦略室第三統括担当課長	
〃	櫻井 貞久	川井地区町内会自治会連合会	前会長
〃	白井 昭夫	旭ガイドボランティアの会	会長

かこ・げんざい・これから —未来に伝える 人・まち・自然—  
[旭区誕生50周年記念誌]

令和元年10月発行

発行 旭区誕生50周年記念事業実行委員会  
編集 旭区誕生50周年記念事業実行委員会 記念誌編集委員会  
事務局 旭区役所 区政推進課  
旭区鶴ヶ峰1-4-12 電話:045-954-6026





区の昆虫・ホタル

発行：旭区誕生50周年記念事業実行委員会  
編集：旭区誕生50周年記念事業実行委員会 記念誌編集委員会